



沖縄県薬剤師会報

No.321. 2024(令和6年) 1・2月号



沖縄県薬剤師会

薬剤師行動規範

昭和43年8月26日 薬剤師倫理規定制定

平成9年10月24日 薬剤師倫理規定改定

平成30年1月17日 薬剤師行動規範制定

薬剤師は、国民の信託により、憲法及び法令に基づき、医療の担い手として、人権の中で最も基本的な生命及び生存に関する権利を守る責務を担っている。この責務の根底には生命への畏敬に基づく倫理が存在し、さらに、医薬品の創製から、供給、適正な使用及びその使用状況の経過観察に至るまでの業務に関わる、確固たる薬（やく）の倫理が求められる。

薬剤師が人々の信頼に応え、保健・医療の向上及び福祉の増進を通じて社会に対する責任を全うするために、薬剤師と国民、医療・介護関係者及び社会との関係を明示し、ここに薬剤師行動規範を制定する。

1. 任務

薬剤師は、個人の生命、尊厳及び権利を尊重し、医薬品の供給その他薬事衛生業務を適切につかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって人々の健康な生活を確保するものとする。

2. 最善努力義務

薬剤師は、常に自らを律し、良心と他者及び社会への愛情をもって保健・医療の向上及び福祉の増進に努め、人々の利益のため職能の最善を尽くす。

3. 法令等の遵守

薬剤師は、薬剤師法その他関連法令等を正しく理解するとともに、これらを遵守して職務を遂行する。

4. 品位及び信用の維持と向上

薬剤師は、常に品位と信用を維持し、更に高めるように努め、その職務遂行にあたって、これを損なう行為及び信義にもとる行為をしない。

5. 守秘義務

薬剤師は、職務上知り得た患者等の情報を適正に管理し、正当な理由なく漏洩し、又は利用してはならない。

6. 患者の自己決定権の尊重

薬剤師は、患者の尊厳と自主性に敬意を払うことによって、その知る権利及び自己決定の権利を尊重して、これを支援する。

7. 差別の排除

薬剤師は、人種、ジェンダー、職業、地位、思想・信条及び宗教等によって個人を差別せず、職能倫理と科学的根拠に基づき公正に対応する。

8. 生涯研鑽

薬剤師は、生涯にわたり知識と技能の水準を維持及び向上するよう研鑽するとともに、先人の業績に敬意を払い、また後進の育成に努める。

9. 学術発展への寄与

薬剤師は、研究や職能の実践を通じて、専門的知識、技術及び社会知の創生と進歩に尽くし、薬学の発展に寄与する。

10. 職能の基準の継続的な実践と向上

薬剤師は、薬剤師が果たすべき業務の職能基準を科学的原則や社会制度に基づいて定め、実践、管理、教育及び研究等を通じてその向上を図る。

11. 多職種間の連携と協働

薬剤師は、広範にわたる業務を担う薬剤師間の相互協調に努めるとともに、他の医療・介護関係者等と連携、協働して社会に貢献する。

12. 医薬品の品質、有効性及び安全性等の確保

薬剤師は、医薬品の創製から、供給、適正な使用及びその使用状況の経過観察に至るまで常に医薬品の品質、有効性及び安全性の確保に努め、また医薬品が適正に使用されるよう、患者等に正確かつ十分な情報提供及び指導を行う。

13. 医療及び介護提供体制への貢献

薬剤師は、予防、医療及び介護の各局面において、薬剤師の職能を十分に発揮し、地域や社会が求める医療及び介護提供体制の適正な推進に貢献する。

14. 国民の主体的な健康管理への支援

薬剤師は、国民が自分自身の健康に責任を持ち、個人の意思又は判断のもとに健康を維持、管理するセルフケアを積極的に支援する。

15. 医療資源の公正な配分

薬剤師は、利用可能な医療資源に限りがあることや公正性の原則を常に考慮し、個人及び社会に最良の医療を提供する。

目次

薬剤師行動規範

年 頭 挨 拶

新年のご挨拶	前濱 朋子 (3)
新年の挨拶	山本 信夫 (4)
新年のあいさつ	糸数 公 (5)
年頭のご挨拶	本田 顕子 (6)
新年にあたって	神谷 政幸 (7)
年頭ご挨拶	國場 幸之助 (8)
ご挨拶	宮崎 政久 (9)
新年のご挨拶	島尻 安伊子 (10)
年頭のご挨拶	西銘 恒三郎 (11)
年頭のご挨拶	比嘉 奈津美 (12)
年頭のご挨拶	松本 純 (13)
「チームの力」で日本を再生させる	渡嘉敷 奈緒美 (14)
新年のご挨拶	新垣 淑豊 (15)
新年のご挨拶	島袋 大 (16)

祝 賀 会

令和5年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催	徳元 あおい (18)
令和5年度受賞者プロフィール	(24)

表 彰

沖縄県公衆衛生大会長表彰 幸地良信先生	平安山 丈継 (36)
沖縄県保健所長会長表彰 池間博則先生、松田聖子先生	(36)

学 術 研 修

令和5年度第3回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会報告	春田 崇彰 (37)
----------------------------	------------

月例相談会

第188回健康とおくすり相談会報告	桃原 泰誠 (38)
-------------------	------------

卸勤務部会

日本医薬品卸勤務薬剤師会2023年度「フォーラム」参加報告	前原 律子 (40)
-------------------------------	------------

D I

薬事情報おきなわNo. 278	薬事情報センター (43)
-----------------	---------------

試験センター

試験検査センターからのお知らせ	(57)
-----------------	------

薬 草 学

身近な薬草を知ろう 第63回シャタバリ	狩俣 イソ (58)
---------------------	------------

リレー随筆

地元宮崎の食について	白坂 亮 (60)
------------	-----------

学 術 研 修

「ICT研修プログラム」コンテンツ公開について	(61)
-------------------------	------

県民の皆様へ

あまくま薬立つ情報	薬達ちゃー (62)
-----------	------------

日 薬 通 達

公式キャラクター募集要項	(63)
--------------	------

日 薬 通 達

医薬品販売制度に関する自己点検結果について	(66)
-----------------------	------

日 薬 通 達

2024年薬剤師賠償責任保険等の加入募集について	(70)
--------------------------	------

転 載 記 事

沖縄県難病相談支援センター 難病情報誌「アンビシャス」連載記事	吉田 典子 (76)
---------------------------------	------------

薬連だより

オレンジ日記「災害薬事コーディネーター」	本田 顕子 (78)
----------------------	------------

政幸だより「大麻取締法改正案の審議で質問に立ちました」	神谷 政幸 (79)
-----------------------------	------------

転 載 記 事

薬学部設置向け連携 県と琉大、協議継続確認	(80)
-----------------------	------

論壇 薬剤師確保の根本的対策 県内国公立大に薬学部を	阿部 義則 (81)
----------------------------	------------

能登半島地震被災地救護派遣 姫野耕一	(82)
--------------------	------

会 務 報 告

令和5年12月～令和6年1月分	(84)
-----------------	------

訃 報

大浜貴子先生、ご冥福をお祈り申し上げます。	(85)
-----------------------	------

会 員 作 品

誌上ギャラリー（裏表紙）について…令和5年 誌上ギャラリー大賞&優秀賞決定！	(86)
--	------

編 集 後 記

	(86)
--	------

お 知 ら せ

会報原稿募集のご案内	(39)
------------	------

沖縄県薬剤師連盟Facebookをご覧ください！	(42)
--------------------------	------

沖縄県薬剤師会Facebookをご覧ください！	(75)
-------------------------	------



新年のご挨拶

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長
前 濱 朋子



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

1月1日に発生した能登半島地震、1月2日に羽田空港で起きた海上保安庁航空機と日本航空旅客機の衝突事故でお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみを申し上げますと共に、被災された全ての方々、その関係者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

2019年、中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界中に感染が広がり、4年が経過しました。当初、未知のウイルスと言われる中で、薬局及び病院勤務の薬剤師、また卸、行政、その他勤務の本会会員の先生方をはじめ、多くの医療・福祉従事者が一丸となり、さらには配送業者など医療従事者以外の職種の皆様にもご協力をいただき、コロナ禍の様々な難局を乗り越えることができました。ここに改めて関係各位に感謝申し上げます。昨年5月に感染症法上の類型の変更により、行動制限がなくなってコロナ禍前の生活に戻りつつある中、セルフメディケーション、環境衛生に関する知識の提供など、地域の薬局薬剤師、学校薬剤師の役割への期待は益々高まっています。

2024年度には、診療報酬と同時に、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の改定、いわゆる「トリプル改定」が行われます。「団塊の世代」がすべて75歳以上の高齢者となる「2025年問題」前年に行われることから、重要な改定であり、“住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを可能な限り人生の最期まで続けるこ

とができるという地域包括ケアシステム”のさらなる推進にも寄与するものになると考えられます。

また2024年度は第8次医療計画のスタートの年となります。沖縄県の第8次医療計画には、薬剤師確保事業、専門薬剤師育成事業のほか、新たに災害薬事コーディネーターの育成等も記載されます。4月からスタートする医師の働き方改革の中では、医師・薬剤師のタスクシフトも明記され、より専門性の高い薬剤師が求められています。これらに対応する薬剤師の育成には一定期間の研修等が必要となり、薬局業務への影響も懸念されますが、その趣旨にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

薬剤師職能に期待がかかる一方で、規制改革推進会議では、薬剤師の対人業務強化のため「調剤業務の外部委託」「訪問看護ステーションへの薬剤配置」が協議されており、こうした動きからも目が離せません。

2024年の干支は「辰」です。特に今年は「新しいことに挑戦して成功する。今まで準備してきたことが形になる」と云われる甲辰（きのえたつ）の年。薬学部創設に期待したいところです。

ところで5本爪の龍（たつ）は中国皇帝のみが使える文様であることはご存じですか。首里城の龍はすべて4本爪でした。形になった龍に首里で会えるでしょうか。

結びに当たり、沖縄県薬剤師会会員の皆様のますますのご活躍とご発展を祈念申し上げますとともに、今後とも本会事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



新年の挨拶

公益社団法人 日本薬剤師会 会長
山本 信夫



新年明けましておめでとうございます。沖縄県薬剤師会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の進める諸事業に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型の変更により、多くの社会活動が再開されました。しかし、感染症を完全に制御できたわけではありません。これからは、国民一人一人が健康状態を自ら確認することが不可欠で、地域住民のセルフケア／セルフメディケーションへの積極的な支援は、これまで以上に地域の薬剤師・薬局の重要な役割となっています。

一方、国を挙げて医療DXが進められており、薬局・薬剤師にはオンライン資格確認や電子処方箋への対応等が求められています。皆様には何かとご負担をお掛けしておりますが、薬剤師資格証の取得などに引き続きご協力をお願いいたします。

また、令和6年度は、医療・介護報酬に加えて障害福祉サービス等報酬を含むトリプル改定が予定されています。公定価格で運用されている医療保険では、昨今の物価高騰・賃金上昇に対応できず、加えて6年連続の薬価改定の甚大な影響と相まって、保険薬局は厳しい経営状況が続いています。日本薬剤師会では改定財源の確保と同時に、医科・調剤の公平な配分を維持するため、関係各方面へ働きかけを進めるとともに、長引く医薬品の供給不足に対しても、厚生労働省と連携し、問題の解決に向け引き続き積極的に関わってい

く所存です。

さらに、本年度は各都道府県で第8次医療計画がスタートします。5疾病と新たに加わった新興感染症を含む6事業、並びに在宅医療の全てに薬剤師・薬局の役割が明記され、地域への医薬品の供給はすべからず薬剤師が担うことが期待されています。これまで大きな課題とされてきた薬剤師の確保についても、各都道府県で取組みが進められるものと思います。

そして、規制改革推進会議は「対人業務の充実」、「持続可能な在宅医療提供体制」、「デジタル技術の有用性を踏まえた医薬品販売」といった美辞麗句を並べ、「調剤業務の外部委託」、「訪問看護ステーションへの薬剤配置」、「コンビニでの医薬品販売」など、薬剤師業務を根底から揺るがす理不尽な要求を繰り返し主張しています。こうした動きに対しては、会員の皆様のご理解とご協力を得ながら、薬剤師職能の存在意義を踏まえて反対してまいります。

国が目標に掲げる「地域包括ケアシステム」の構築時期まで1年あまりとなりました。超高齢社会が本格化する2025年を目前にして、如何に地域社会と共生していくかがこれからの薬局・薬剤師にとって重要な課題と考えています。日本薬剤師会では、地域への医薬品提供を担う薬剤師・薬局がその責任・役割を果たせる環境づくりに向けて、覚悟と矜持を持って会務を進める所存です。

結びにあたり、沖縄県薬剤師会会員の皆様方にとって実り多い一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。



新年のあいさつ

沖縄県保健医療部 部長

糸数 公



新年を迎えるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

1月1日に発生した能登半島地震において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま及び御家族の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、多くの行方不明者がいらっしゃいますが、一刻も早く救助されることをお祈りいたします。沖縄県としても、全国知事会と連携して、支援してまいります。

沖縄県薬剤師会の皆さまにおかれましては、日頃から本県の薬務行政の推進に格別の御支援と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、私たちの経済活動や日常生活に深刻な影響を与えた中、昨年の5月に5類感染症へと移行しました。これまで、薬剤師の皆さまにおかれましては、抗原検査キット、解熱鎮痛薬、コロナ治療薬等の供給、さらにはワクチン接種への御協力等、多大な御尽力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、国においては、少子高齢化が加速する中、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見据えて全世代型社会保障の構築を目指した取組がされております。

こうした中で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

その一翼を担う薬局・薬剤師は、服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導に加え、24時間対応・在宅対応や、

医療機関等との連携、薬物療法の専門家として、その機能や職能を発揮していくことが期待されています。

皆さまにおかれましては、日々の業務でご多忙のことと思いますが、薬物療法の専門家として患者さんや現場の視点を基に薬剤師の新たな業務や役割等について、ご発信・ご提案いただきたいと思います。

また、本県では薬剤師が慢性的に不足しており、薬剤師の確保が重要な課題となっているところです。そのため県では、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」及び「沖縄県薬剤師確保のためのアクションプラン」に基づき、県内での就業を目的とした奨学金の返還助成や県内国公立大学への薬学部設置等の総合的な薬剤師の確保・養成に取り組んでおりますので、引き続き、皆さまの御協力をお願いいたします。

近年、市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）や大麻グミ等の危険ドラッグの乱用が社会問題となっております。

県は、薬物乱用防止対策として、沖縄県薬剤師会、県警及び沖縄県薬物乱用防止協会等の関係機関、関係団体と連携し、学校、地域における薬物乱用防止講習会や薬物乱用防止街頭キャンペーン、SNSや動画共有サービス等を活用した普及啓発活動を実施しています。今後とも、本県の薬物乱用防止対策に一層の御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新春の門出にあたり、沖縄県薬剤師会の限りない御発展と会員の皆さまの御優勝と御活躍を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



年頭のご挨拶

文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官
参議院議員・薬剤師

本田 顕子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、穏やかに新たな年を迎えられたことと存じます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止と必要な医療提供体制の確保が求められる「特別な期間」を乗り越えた年となりました。社会全体が公衆衛生の大切さを理解し協力しあい、医療を現場で支える会員の皆様が感染防止に注意を払いつつ新型コロナ対策の徹底にご尽力され、地域の皆様の命とくらしを守ってられましたことに敬意と感謝を申し上げます。

4月から第8次医療計画がスタートします。

地域医療を支える薬剤師が5疾病6事業および在宅医療において、専門性を生かし職能を遺憾なく発揮する大きなチャンスです。今般の第8次では、人口減少・高齢化が進展していることを念頭に置きつつ、医療ニーズの質・量の変化に対応した必要な医療提供体制を維持する観点で、いかに医療人材を確保できるかが重要になってまいります。人材の確保・養成は一日にして成るものではありませんので、関係団体が一体となって各自治体の薬務主管課と医務主管課と継続的に協働を続け、地域医療を支える薬剤師の確保につなげてまいりましょう。

また、医療DXの推進も求められております。昨年成立した令和5年度補正予算などを活用しつつ、電子処方箋の機能拡充と活用が進展することを願っております。

医薬品の供給不足に関しまして会員の皆様にご負担とご心配をおかけしているところで。令和5年度補正予算において医療上必要性の高い医薬品の増産支援などが行われ、年末にとりまとめられた薬価改定の骨子においても不採算品目への一定の対応がなされましたが、産業構造上の対応策を含め供給安定化に向けて引き続き力を尽くしてまいります。

昨年10月から文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を拝命し、「科学技術・学術」と「文化」を担当しております。文部科学行政は薬学とも関係が深い分野ですので、アカデミアや研究機関などによる基礎研究を後押しし、創薬やイノベーションの推進にも励んでまいります。そして、これまで私が注力してきた薬剤師や薬業などに関する課題と信念に基づく政治活動についても変わらず続け、薬剤師の皆様が夢や希望を持ち、それらを実現できる社会づくりにつなげてまいります。

本年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様にとりまして本年が実り多き一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

それぞれの 人等にとって 聞く力
為すべき課題 我が国家論

(2022年 詠み人 本田顕子)



新年にあたって

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より温かいご支援を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、深く御礼を申し上げます。

昨年の通常国会の厚生労働委員会において、医薬品の安定供給問題について関係者の疲弊はピークに達しており、一刻も早い状況の改善が必要であることを質疑の中で訴えました。その後、状況がさらに悪化したことを受け、国会終了後も自民党本部における部会や議連等を通して、また関係省庁等に対し、現場の状況を伝えると共に、問題解決のための対策を取るよう訴え続けました。秋の臨時国会の厚生労働委員会でも医薬品供給問題について言及し、政府に対してしっかりとした支援をお願いすると共に、想定される今後の状況に対して、後手に回らないよう要請しました。新しい年を迎えましても、医薬品の安定供給等様々な問題に対して、引き続きしっかりと対応して参る所存です。

今後、電子処方箋の本格運用によって薬の重複チェックが可能となり、マイナポータルから収集される薬剤情報や特定健診情報等、ネットワークを通じた様々な情報は拡大すると思われます。薬剤師による細やかな患者情報の収集と、患者さんに寄り添った服薬指導にデジタル情報が加わり、薬物療法の質はさらに向上し、その先には、共に標準化された電子カルテと調剤録の共有や、電子化されたトレーシングレポートの活用による、副作用対策や医療の適正化が期待されます。

本年も薬剤師の未来に向けて、しっかりと仕事をして参る所存です。引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

日本薬剤師連盟の先生方の益々のご活躍と、会員の皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。





年頭ご挨拶

国土交通副大臣

衆議院議員

國場 幸之助

新年明けましておめでとうございます。

光陰矢の如し、正に一年が経つのは早いもので、皆様に議席を与えて頂いてから二年余が過ぎました。お陰様で、現在、国土交通省副大臣として東奔西走の日々を送る毎日です。ご高承の通り、辰年を迎えた元日早々から、能登半島でマグニチュード7超の地震が発生、大きな被害をもたらし、多くの住民の皆様が不自由な生活を余儀なくされています。また、地震災害への救援物資を輸送する活動に従事していた海上保安庁の固定翼機と民間航空機が羽田空港で接触事故を起こし、民航機に搭乗していた皆様は奇跡的に全員無事に脱出されましたが、残念ながら海上保安庁機の搭乗員は機長を除く5人が命を落としてしまいました。今般の震災ならびに事故の犠牲になられた全ての皆様のご冥福を心よりお祈りいたします。

さて、ここ数年、国民はもとより医療関係者を含め新型コロナウイルスに翻弄され、薬剤師の皆様は医療の一角を担うという重責の下、不眠不休で国民の命を守るため全力を尽くされた事と存じます。ここに、紙面をお借りして衷心より感謝を申し上げます。

私は薬に関しては浅学菲才の身であります。明治時代初期には我が国には合成薬を作る技術はなく、外国からの輸入に頼っていた時期があったそうです。しかし、輸入薬の中には粗悪品が多く、明治7年に政府が我が国初の国立医薬品試験機関である司薬場（しやくじょう）を設置した事を契機に、今日の日本の薬業の発展に繋がったものと受け止めています。

この世に生を受けてから一度たりとも薬を

口にした事が無い人は皆無に等しく、薬は命を保つために不可欠なものです。ただ、その使用法を誤ると生命に係る側面を有している事も確かで、そのため私達の健康維持や病の治療に大きく関わっているのが「薬剤師」です。日頃、安心・安全に薬を服用できるのは、「薬剤師」の皆様の蓄積された知見と日々の研鑽のお蔭であり、県民の皆様には今一度認識頂ければ幸いです。

医療に関連する「薬剤師」は、常に患者と向き合わなければならない立場にあり、身近で患者の心情に触れる機会が多いと存じます。係る環境を踏まえ、日本薬剤会から令和5年9月に政策提言がなされた事は承知しています。

その提言内容は、1、地域医薬品提供計画（仮称）の策定に始まり7項目にわたるもので、熟読させて頂きました。いずれの項目も、ひいては国民生活に直結する内容で、国政に携わっている者として真摯に受け止め、貴会の政策提言実現に向け汗を流さなければならないと決意を新たにしています。

今年の干支は「辰」です。一般的に、辰年は最も幸運で最も繁栄し、前例のない機会に満ちていると言われています。また、創造性と情熱を解き放ち、勇気と自信を持って夢を追い求める年でもあると。

末筆ながら、沖縄県薬剤師会並びに会員の皆様には、ご健勝で辰年に相応しい飛躍を遂げられますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年2月吉日



ご挨拶

厚生労働副大臣
衆議院議員
宮崎 政久



新年あけましておめでとうございます。

前濱会長をはじめ、沖縄県薬剤師会の皆様、ご関係のすべての皆様におかれましては、お健やかに新たな年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、貴会ならびに会員の皆様からひとかたならぬご支援ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

まずはじめに「令和6年能登半島地震」で亡くなられた方々に改めて御冥福をお祈り申し上げ、全ての被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

私も、元旦の地震発災直後から、厚生労働副大臣として、東京の厚生労働省で、朝から夜まで、現地とのやりとりも含めて対応に追われています。

現在、能登半島の災害現場にはモバイルファーマシーが薬剤師の方々と一緒に活動中のほか、避難先の健康管理に至るまで薬剤師の皆さまの厳しい環境でのご尽力には頭が下がります。沖縄からも様々な支援が必要となりますので、薬剤師会の先生方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、沖縄では、薬剤師会の先生方のお力を借りて県内での薬学部の新設へと運動が進んでいます。課題はありますが、沖縄の将来のために、薬剤師の皆さまの活動発展のために、これからもお力添えをよろしくお願い致します。

私は厚生労働省に入って、我が国には創薬力の強化が今ほど求められている時代はない

と痛感しています。創薬の新たな展開には沖縄は適地です。ここでも薬剤師の先生方のご活躍の機会が提供できると考え、厚生労働副大臣として、この分野も取り組みを強化していますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

県民が必要とする医薬品を安心して、かつ確実に入手できるよう、薬局の経営を安定させるとともに、薬剤師の皆様の生活を安定させ、ひいては、すべての県民に安全安心な生活を届けることも、政治家の重要な責務の一つと考えております。この責務をしっかりと果たすことができるよう、私も、現場の実情を十分に理解し、薬剤師の皆様のご意見やご要望をしっかりと受け止め、皆様のご意向に沿えるよう全力を尽くして職務にあたる所存です。

皆様におかれましても、引き続き、県民の健康を支えていただくとともに、県民の医療福祉の向上のため、ご貢献いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年も変わらぬ御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、前濱会長はじめ役員の皆様、そして会員の皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年1月吉日



新年のご挨拶

衆議院議員
島 尻 安伊子



令和六年の新春を迎えるに当たり、前濱会長はじめ、沖縄県薬剤師会の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

地域医療の担い手として、高い倫理観と職能技術に基づく使命感をもって、薬事衛生業務に取り組み、県内の公衆衛生の向上及び増進に貢献され、また県民の健康で安心安全な生活を確保することに常日頃からご尽力いただき、心から敬意を表する次第であります。

今年は、元日の能登地方を震源地とする能登半島地震と2日に羽田空港で発生した航空機事故と耳を疑うような大変な災害と事故が発生しました。これまでに多数の人的被害、建物倒壊、火災など、非常に大規模な被害が確認されている状況です。被災地では、各医療機関が多数の負傷者・患者に対応している状況です。このような状況は長期化することが予想され、被災地の病院や避難所巡回の医療チームでも薬剤師不足が生じることが予想されます。被災地で調剤や避難所の環境衛生業務などを担いながら、全国各地から医薬品提供体制の確保にご尽力されている関係者の皆様にあらためて感謝申し上げます。

また近年では、情報通信技術が進展する中で、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインを通じた社会活動が増加するとともに、OTC医薬品の活用をはじめとするセルフケア・セルフメディケーションの推進が図られるなど、国民と医薬品を取り巻く状況は大きく変化しています。

さらに、インターネットやSNS等により、医薬品に関する様々な情報が容易に入手可能

となったことも背景に、一般用医薬品の濫用等の安全性確保に関する課題が新たに生じてきております。

このような状況の下、医薬品のリスクを踏まえ、医薬品の安全かつ適正な使用を確保するとともに、医薬品の使用に当たり適切な情報理解が必要であることについて、国民への浸透を図るとともに、国民が薬剤師等から情報提供を受け、相談しやすい環境を整備する対策が必要であると考えております。

近年では、医療分野におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）が進められており、マイナポータル等を通じた各種医療情報共有、電子処方箋やオンライン服薬指導、電子お薬手帳などICT等の技術発展に伴い、薬剤師を取り巻く環境も急速に変化しております。これらの技術を効果的に活用していただき、地域医療の担い手として、地域住民の健康づくりの拠点となる薬局や薬剤師の皆様方には、県民の健康維持、促進のために引き続き、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

私も、県内の慢性的な薬剤師不足の状況を踏まえつつ、県民の悲願である薬学部新設に関しての、ご要請にたいしましても、関係省庁と引き続き、連携して取り組んで参る所存であります。

結びに、沖縄県薬剤師会のますますのご発展と前濱会長はじめ貴会の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。



年頭のご挨拶

元 復興大臣・元内閣府特命担当大臣(沖縄および北方対策)

衆議院議員

西 銘 恒三郎



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

この度の、元旦に発生した令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての方々に衷心よりお祈り申し上げます。依然として予断を許さない状況が続いていますが、被災地域の皆さまの安全確保、そして一日も早い復旧・復興を、国会議員として全力で対応して参ります。

沖縄県薬剤師会の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援ご理解を賜り厚く御礼申し上げますと共に、県民の医療向上と命と暮らしを守ってこられましたことに敬意と感謝を申し上げます。

皆さまにご心配をお掛けしております医薬品供給不足等につきまして、製造体制の強化を図る為の令和5年度補正予算など、引き続き医薬品の安定供給の確保に向け総合的な対策を講じてまいりますので、調剤業務・服薬指導等を通じて県民の健康管理に寄り添っていただく等、変わらぬご協力を宜しくお願い致します。

ここ沖縄県は、今後の日本経済の牽引役とも期待をされております。これからも安全安心はもとより、東アジア及びA. S. E. A. N. 諸国により近い沖縄県の特性を活かし、医療の充実豊かな地域社会を形成する為にも、国政の場より皆さま方としっかりと連携し取り組んで参ります。

安心できる保健医療体制の構築に向けて、薬剤師の確保・育成が重要であると考えております。加えて、深刻な少子高齢化・人口減

少社会を迎える中で、全世代型社会保障の構築に向けた医療保険制度や医療提供体制の見直し、地域包括ケアシステムの更なる深化の為の取り組みを進めていく必要があります。あわせて地域住民が健康について気軽に相談できる身近な存在としての『かかりつけ薬局・薬剤師』に係る取り組みを着実に進めていくことが重要であります。

さらに、本年度は第8次医療計画がスタートします。5疾病と新たに加わった新興感染症を含む6事業、それに在宅医療の全てに薬局や薬剤師の役割が明記され、地域への医薬品の供給が期待されています。これまで大きな課題とされてきた薬剤師の確保についても、わが沖縄県でも取り組みが進められるものと思います。

地域の医薬品提供体制において、薬局や薬剤師への期待は今後益々大きくなるものと考えております。地域への医薬品提供を担う薬剤師の皆さまのスキルを十二分に発揮いただく環境づくりに、国政の場において全力で取り組んでまいります。

こうした取組には、皆さまのご支援ご協力が不可欠でございますので、今後ともより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も沖縄県薬剤師会の益々のご発展並びに、お一人お一人のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和6年新春



年頭のご挨拶

参議院議員
比嘉 奈津美



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。また、薬の専門家として県民の健康増進のため、ご尽力されておりますことに深く敬意を表します。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、長く続いてきたコロナ対策は大きな転換点を迎えました。街が賑わいを取り戻す一方で、通常より早い時期からの季節性インフルエンザの流行、鎮咳薬等様々な医薬品の供給不安などにより、薬剤師の皆様には大変なご苦勞、ご負担があった1年であったことと存じます。そのような中でも、地域医療を守るため日々最前線でご奮闘いただいておりますことを、改めて感謝申し上げます。

また昨年は、電子処方箋の全国運用開始、オンライン資格確認の原則義務化など、より良い医療を提供していくための医療DXの取組が加速いたしました。現場の皆様には、これらのシステムの円滑な導入にご協力いただき、心から感謝しております。一方で、導入のための体制整備等が求められ、日々の業務に大きな影響が生じていることと存じます。導入に当たって混乱やトラブルが生じることのないよう、皆様からの声を受け止め、私も国政の場において医療DXの円滑な推進に向けた環境整備に努めてまいりたいと存じます。

近年、我が国では「人生100年時代」を見据え、地域において切れ目なく一体的に医療・介護サービス等を提供する地域包括ケアシステムを構築し、進展させていくことが求められています。その中で、地域で医薬品提供を担う薬剤師、薬局の果たす役割に対して非常に大きな期待が寄せられているところです。県民が地域で安心した暮らしを送るためには、薬について誰よりも熟知している薬剤師の皆様において、医師や医療機関と連携しつつ、服薬に関する相談や服薬指導に一元的・継続的に取り組んでいただくことが欠かせません。また、薬や健康についていつでも気軽に相談できる、かかりつけ薬剤師・薬局に係る取組を更に推進していくことも重要です。

今後とも、薬剤師の皆様におかれましては、地域で一番身近な医療人として、県民の健康維持・増進を図り、地域医療を支えるためにお力添えいただきますようお願い申し上げます。

私も、薬剤師の皆様と同じく医療人としての歩みを基に、参議院議員としての務めをしっかりと果たすことのできるよう、皆様のご意見を賜り、現場の状況をよく把握しながら、国政活動に邁進してまいります。

最後になりましたが、沖縄県薬剤師会のみならず皆様のご発展、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。私からの年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

前衆議院議員 薬剤師
松本 純



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は沖縄県薬剤師会、薬剤師連盟の前濱朋子会長はじめ会員皆様には大変お世話になり、ご指導いただいて参りましたことに心から感謝を申し上げます。

令和6年を迎え、新たな気持ちで「民、信なくんば立たず」という言葉を大切に、今年もお国のため、国民患者さんのため、国民皆保険制度堅持に努め、皆様に安全・安心をお届けできるよう努力を重ねて参りたいと存じます。

さて、昨年の診療報酬改定等についてご報告します。この議論は、政府提案として「賃上げの実現」「子ども子育て政策」などが主張され、財源をどこから生み出すかが最大の課題となりました。

これらのテーマを踏まえ、

(1)「物価高騰・賃金上昇を踏まえた必要な財源の確保」

第23回医療経済実態調査では約3割の薬局が赤字経営となっていますが、緊急調査の結果、回答のあった239件中、約95%が今回の物価高騰により負担感を感じていると回答。内訳は消耗品比約86%、電気代約88%、ガソリン代79%でした。

(2)「頻回・過度な薬価改定が与える薬局経営等への影響」

2023（令和5）年の春闘の結果によると、全産業の平均賃上げ率は3.58%、従業員数99人以下では2.94%となっており、同年8月公表の令和5年人事院勧告では、約3.3%の給与改善を求めています。一方3割の薬局では賃上げを実施できていない。賃上げできている薬局のうち、全体の賃上げ率は1.99%、薬

剤師のみでは1.44%になっています。さらに、調剤報酬の約74%は薬剤費。当然薬価改定は、保険薬局の維持・運営等に多大な影響を与えています。約3割の保険薬局が赤字経営の中、薬価中間年改定により、備蓄医薬品の資産価値の減少のみならず、総売り上げ減少にもつながり、資金繰りに大きな影響を及ぼしています。

(3)「診療報酬の内訳（医科・歯科・調剤の技術料）に応じた公平な分配の堅持」

診療報酬とは診療行為等の対価として、病院や薬局が患者・保険者から受け取る報酬（公定価格）。これは①医師の人件費等の『技術・サービスの評価』（診療報酬本体）と、②薬の値段等の『物の価格評価』（薬価等）からなっており、個々の技術・サービスを点数化（1点＝10円）して表示します。このバランスは、1：1.1：0.3となります。

これら三つの観点から、日本薬剤師会は主張を展開しました。

さて、財源をどこから出していくのかの大変複雑な戦いになり、かけ離れた厚生労働省と財務省の考え方の違いがどこまで調整できるか、私は心配しながら最善の結果を求めている限りの取り組みをして参りました。

その結果、すでに先生方ご承知の通り、令和6年6月施行の診療報酬等改定は、

1. 調剤報酬 +0.88%
2. 薬価等 ▲1.00%（①薬価▲0.97%、②材料価格▲0.02%）

本年が昨年よりも少しでも良い年になるよう、沖縄県薬剤師会のご発展を願いながら、国政復帰の努力を続けて参ります。引き続きのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



「チームの力」で日本を再生させる

前衆議院議員
渡嘉敷 奈緒美



新年明けましておめでとうございます。

前濱朋子会長はじめ関係者皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになりましたことと心よりお慶び申し上げます。また自民党の若手地方議員を交えた薬剤師の勉強会では、いつも開催にお力添え頂き心からお礼申し上げます。この会のお陰で、地方議員の先生方は、地域の薬剤師の先生方が市民の健康と衛生環境を維持していることを理解できるようになり、それぞれの議会で発言し、少しずつではありますが行政を巻き込む形が出来つつあることに感謝いたしております。

落選してから私も2年余り立ちますがその間も沖縄県薬の先生方・関係者の皆様には心からの温かいお支えを頂いておりますことに心から御礼申し上げます。一刻も早く国政の場に戻り国会議員として日本の医療発展に寄与ししっかりと皆様に仕事で恩返しできますようにこれからも頑張って参ります。何卒本年も変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

さて不思議なもので国政から離れたからこそ、私は政治の大きなうねりが見えるようになってきたような気がしています。そしてこの流れの中で日本経済を再生させるポイントは一体どこにあるか…それは「チームの力」にあるのではないかと強く思うようになりました。

薬局を例に考えてみると現在の薬局経営は、大きな荒波に巻き込まれようとしています。昨年、規制改革会議で厚労省より「調剤の一部外部委託」に関するガイドラインが発表されました。これは徐々に調剤業務は薬局から出ていくことを意味しています。遠くない将来、薬局から「調剤室」は無くなり薬剤

師は対人業務強化のための仕事が変わっていき、今までとは全く違った業務内容に変わって行くことでしょう。

薬局は5薬局以下の中小薬局が48%（2021年日本保険薬局協会調査）を占め中小企業が中心です。今後AIやIoTがどんどん発展してくると基礎体力のあるチェーン店などの大企業が有利になることは容易に想像できます。人材確保においても労働人口は減る中、例えば産休で休職した薬剤師の穴を1店舗の薬局で埋めるのは困難です。また今後医療の多職種の方と連携して、コンサルティング業務の質の向上を目指す時も、1店舗では難しいです。しかし今後起こりうる様々な課題は、複数の薬局間でチームを組んでいけば対応することが充分可能となります。ここで重要になってくるのが、「薬剤師会」の役割です。地域医療計画に基づき、地域の目指す医療を見据えて、どの薬局同士をチームにするか、相乗効果を生むにはどのようにしたらいいのか、その戦略を練るのが薬剤師会の役割になります。そして我が国の特長である「高齢社会」「皆保険制度」もチーム力を高めることに使える要素です。

逆境に立ち止まるのではなく、将来に大志を抱き、それを成し遂げる技能と忍耐を持った仲間をもつこと。独りで見る夢は夢でしかありませんが、誰かと見る夢は現実になんか近づいてきます。この言葉を自分自身にも言い続け、沖縄の血を受け継ぐ政治家として頑張って参りますので、今年もご指導よろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

沖縄県議会議員
新垣 淑豊



令和6年、あけましておめでとうございます。本年は元旦より能登地震や被災者支援の輸送を行う海上保安庁による航空機事故など、痛ましい出来事が続き、波乱の幕開けとなりました。お亡くなりになった方々に哀悼の意を表すと共に、被災された皆様へお見舞いを申し上げます。これ以上の被害の広がらないように願い、沖縄県からもできる限りの支援を行うように県議会を通して取り組んでまいります。

さて、昨年5月にこれまで数年に渡り猛威を振るい、社会的な被害も大きかった新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが変わりました。しかし、新型コロナウイルス感染の影響はまだ残る部分もあり、その後遺症やインフルエンザなど他の感染症などへの対応、また県民の健康的な生活に際しても前濱朋子会長をはじめとする沖縄県薬剤師会会員、関係者に御尽力をいただいていますこと誠に感謝申し上げます。

さて、本年の震災のように有事の際には、島嶼圏である沖縄では陸続きでないために、周りからの支援も受けづらい状況になるのではないかと想定されます。県内の人的な資源をフル活用して事に臨む必要があります。普段の生活においても県民の命を守るためにも県内各地域、離島やへき地にも充実した地域医療体制を構築しなければなりませんので、医療関係者の育成は非常に重要な政策の一つであります。しかし、現状として県内の薬剤師不足は依然として全国でも厳しい状況であります。薬学に興味を持ち県外への進学をしたい子どもたちもいるかと思いますが、保護者への大きな費用負担を伴いますので、躊躇している家庭も多くあるのではな

いでしょうか。

沖縄県でも昨年は人口自然減という新たなタームに移ろうとしており、少子高齢化が進む状況ですが、子どもたちへの教育環境を整え、子育ての負担を減らすことも地域人口を維持するためには必要なことであると感じております。

その対策のために貴会が中心となって取り組み、要請を続けている沖縄県での県内国公立大学における薬学部設置に向けて、少しずつではありますが動きが出てまいりました。昨年末に琉球大学との協議の場を設置することが報道されました。しかし、実際の設置に関してはまだまだ乗り越えなければならない課題も多い状況であると耳にしております。

県外におけるこれまでの事例から職業教育や学生の地域の活性化活動など、沖縄県にも好影響を与えるものと予想されます。他にも沖縄県の経済的な発展のために産官学の連携での創薬事業なども期待が持たれています。県内国公立大学への薬学部設置に向けての諸課題を貴会の方々と意見交換を行いながら、県議会を通して解決に向けて動いてまいります。また、県政で解決できないことに関しては沖縄県選出の国会議員の方々と情報を共有し連携を取りながら前に進めて行きます。その他、沖縄県としての医療課題は多くありますので、その解消に向けてぜひ貴会の皆様から多くのご意見とお力添えを賜りたく存じます。

結びに、本年も貴会が益々発展すると共に、会員や関係者、そのご家族など周囲の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

沖縄県議会議員

島袋 大



新年あけましておめでとうございます。自民党沖縄県連幹事長の島袋大です。

令和6年ですが、1月1日から能登半島における大地震が発生し、2日には羽田空港での航空機事故など、相次ぐ災害・事故の発生に、心穏やかではないスタートとなってしまいました。災害・事故に遭われ無念にも亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族のみなさまのお心を案じております。また、一日も早い震災復興に向けて、県連挙げて取り組んでいく所存です。去る1月11日・12日には、県庁前にて能登半島地震被災者支援街頭募金活動を実施しました。道行く多くの方々から篤志を預かりまして、党を通じて被災地へのご支援をさせていただきました。ありがとうございました。

一昨年来薬剤師会様において懸案となっておりました、県内国公立大学への薬学部設置については、12月の県公募期限までに応募がなかったことから、残念ながら仕切り直しを余儀なくなっていました。幸いにも琉球大学が県との間で引き続き設置に向けた協議を継続する旨の意思を示されましたので、動向を見守りつつ、顕在化している課題を共有し、早期設置に向けて政府への働きかけを積極的に行っていかなければならないと思いを新たにしております。

昨年に引き続き電気料金をはじめとする物価高が続いております。県内消費者物価指数は全国指数に比べて約2ポイントも上回る状況であり、全国と比べて一層厳しい生活を強いられているのが沖縄であります。これまで

政府・自民党では、地方創生臨時交付金や重点支援地方交付金を活用して、地方の物価高対策に対応してまいりました。しかしながら、島しょ圏である沖縄にあつては、電力供給網も独立しており、人流・物流に係る輸送コストが多重にかさむという構造的不利性を抱えていることから、今後ともさらに強力な支援策の創設・継続を訴えてまいりたいと思っています。

さて、我々県議会議員は、2024年6月に任期満了を迎えます。これまで培ってきた経験を活かし、さらなる飛躍に向けて邁進する意気込みであります。これからの沖縄経済をけん引するのはやはり若い力、スタートアップ企業の勢いというのがあると思います。私の地元豊見城市においては、来年度から自走式ロープウェイの技術を活用した、新しい交通システムの導入可能性調査が始まる予定ですが、そのアイデア技術を開発したのが若干29歳の社長が率いる企業であります。沖縄から日本、世界へと、交通問題の解消のための一助になるのではないかと、私も全面的に若い世代のサポートをしてまいりたいと思います。

最後に、本年2024年は辰年であります。龍が天高く昇るが如く、県民の皆様の幸せを願いつつ、県議会議員の一員として引き続き精進してまいりたいと思っておりますので、薬剤師会会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願いする所存でございます。

本年も皆様にとって良い年となりますこと、祈念申し上げます！

新年賀謹

昨年では会運営にご理解ご協力を賜わりお礼申し上げます。
皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

法社一
人団般

沖縄県薬剤師会

名誉会員	新垣正次	長田紀昭
相談役	神村武之	亀谷浩昌
監事	松山朝雄	
会長	江夏京子	山里勇
副会長	前濱朋子	
専務理事	中村克徳	川満直紀
常務理事	古謝玄太	
	阿部義則	
	佐藤雅美	宮城幸枝
	姫野耕一	知名博樹
理事	喜友名朝史	
	浅沼健一	石川恵市
	又吉智賀子	名嘉紀勝
	古謝真己	幸地良信
	村田美智子	島袋さゆり
	知念大輔	吉田典子
会営薬局 医療センター前	阿部義則	
会営薬局 うえはら	中曾根鳴香	
会営薬局 とよみ	宮里威一郎	
薬事情報 センター	吉田典子	
試験検査 セクター	小泉宝之	
事務局	大城喜仁	
他職員一同		

沖縄県薬剤師連盟
沖縄県本田あきこ後援会
沖縄県神谷まさゆき後援会

会長 前濱朋子
幹事長 石川恵市
他役員一同

令和5年度 薬事功労受賞者



糸数公沖縄県保健医療部長の見事な三線演奏と歌声で幕開け「鷺ぬ鳥節」
優雅な舞いを披露した前濱朋子会長（左）と宮城幸枝常務理事（右）

令和5年1月14日正午より、ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で、沖縄県薬業連合会主催の令和5年度薬事功労受賞者合同祝賀会が開催された。司会進行は、本会の宮城敦子広報委員会委員長が務めた。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後初めての開催で、受賞者18名のほか、関係者、ご家族等多くの方にご出席いただいた。

会が始まる前に、1月1日に発生した能登半島地震と、1月2日に羽田空港で起きた海上保安庁航空機と日本航空旅客機の衝突事故でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、黙祷がささげられた。

その後、本会および沖縄県薬業連合会の前濱朋子会長と本会の宮城幸枝常務理事が踊り、沖縄県保健医療部の糸数公部長が三線と歌を務め、「鷺ぬ鳥節（バシヌトゥイブシ）」

で幕開けとなった。糸数部長は八重山福祉保健所への赴任を機に八重山古典民謡を習い始め、現在も八重山古典民謡保存会会員とのことで、その素晴らしい地謡と、前濱会長と宮城常務理事の優雅な舞いに会場はしばし魅了された。

続いて、沖縄県薬業連合会の親泊康行理事による開会の挨拶、前濱会長による主催者挨拶があった。前濱会長は、「能登半島地震の被災地支援として、沖縄県薬剤師会よりJMAT（日本医師会災害医療チーム）に現在までに薬剤師3名を派遣していることを報告し、今後も支援に取り組んでいくため協力をお願いしたいこと、また、コロナが明け、日常生活や経済活動がコロナ前に戻りつつある中で、薬業4団体のつながりを一層深め、医薬品供給を通じた地域医療の向上に資するよう努め

合同祝賀会開催

会期：令和6年1月14日（日）

会場：ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 首里の間

司会 沖縄県薬剤師会 広報委員会委員長 宮 城 敦 子

<会次第>

幕開け 鷺ぬ鳥節

開会のことば

主催者あいさつ

来賓あいさつ

乾杯

受賞者登壇・紹介

受賞者代表挨拶

沖縄県薬業連合会理事 親 泊 康 行

沖縄県薬業連合会会長 前 濱 朋 子

沖縄県知事 玉 城 デニー

沖縄県医師会会長 安 里 哲 好

沖縄県薬業連合会副会長 秋 信 裕 一

伊 佐 常 隆

～ 懇談 ～

閉会のことば

沖縄県薬剤師会副会長 川 満 直 紀

ていただきたい」と述べるとともに、受賞者の今後のさらなる活躍と出席者への感謝を述べ、挨拶とした。

続いて、来賓の玉城デニー知事に代わりご出席いただいた沖縄県保健医療部の糸数部長の代読により、知事からのご祝辞を賜った。また、同じく来賓の安里哲好沖縄県医師会会長に代わりご出席いただいた沖縄県医師会の宮里達也副会長の代読により、ご祝辞を賜った。

次に、沖縄県薬業連合会の秋信裕一副会長による乾杯の音頭の後、受賞者の登壇・紹介へと移った。受賞者の名前が呼ばれ登壇すると、会場からは一人一人に表彰をたたえる温かな拍手が送られた。そして、受賞者を代表して薬事功労者厚生労働大臣表彰を受賞した伊佐常隆氏が次のように挨拶した。「今回の

受賞は多くの方々によるご指導やご協力がなくてはいただけなかったものであり、関係者の皆様に御礼と感謝を申し上げます。これからも地域に根差した活動をしていくことを念頭に置いて頑張ります。」

その後の懇談の中で、来賓の島尻安伊子衆議院議員、國場幸之助衆議院議員秘書の渡邊純一氏、古謝玄太那覇市副市長よりご挨拶を頂戴した。また、本田顕子参議院議員からのメッセージ動画を視聴した。

懇談中は、久しぶりの再会を喜び、受賞をたたえ合う先生方の笑顔が会場にあふれ、話もつきない様子であった。

本会の川満直紀副会長による閉会のことばで、会は盛況のうちに幕を閉じた。

（文：事務局 徳元 あおい）



開会のことば
沖縄県薬業連合会
親泊 康行 理事



主催者あいさつ
沖縄県薬業連合会
前濱 朋子 会長



来賓あいさつ
沖縄県保健医療部
系数 公 部長



来賓あいさつ
沖縄県医師会
宮里 達也 副会長



乾杯の音頭
沖縄県薬業連合会
秋信 裕一 副会長



乾杯風景



祝賀会に出席された受賞者の皆様が登壇。右上は受賞者を代表して挨拶した伊佐常隆氏



来賓あいさつ
衆議院議員
島尻 安伊子 氏



来賓あいさつ
國場幸之助衆議院議員秘書
渡邊 純一 氏



来賓あいさつ
那覇市
古謝 玄太 副市長



閉会のことば
川満 直紀 副会長



司会
広報委員会
宮城 敦子 委員長



本田顕子参議院議員からのメッセージ



前列左から来賓の米須敦子沖縄県歯科医師会会長、平良孝美
沖縄県看護協会会長、宮城雅也沖縄県小児保健協会会長、
後列右から山城篤沖縄県臨床検査技師会副会長と、本会の
中村克徳副会長、前濱朋子会長



北部地区薬剤師会関係者



南部地区薬剤師会関係者



中部地区薬剤師会関係者



那覇地区薬剤師会関係者



宮古地区・八重山地区薬剤師会関係者



女性薬剤師部会関係者



学校薬剤師部会関係者



熟年の集いの皆様

令和5年度受賞者プロフィール

〔薬事功労者厚生労働大臣表彰〕

伊佐 常隆 氏

嘉手納町や読谷村内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、嘉手納町介護認定審査会委員、嘉手納町地域包括ケア個別会議委員、読谷村国民健康保険運営協議会委員にも就任し、地域社会の活動に積極的に協力している。

昭和53年に学校薬剤師に委嘱されると、複数校の学校薬剤師として、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長および養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供を行い、学校保健活動の向上に貢献している。

平成12年に中部地区薬剤師会副会長に就任し、平成16年には地元の嘉手納支部長も兼任。中部地区薬剤師会の各支部との情報交換や連携を行うと同時に、同支部の医薬分業推進等のための各種研修会を企画し会員の資質向上にも尽力した。平成28年には中部地区薬剤師会会長に就任し、健全な組織運営を目指すとともに中部地域における多職種連携を図り、薬局が地域医療介護に積極的に取り組んでいけるよう尽力した。会長職を退任後の現在も、監事として中部地区薬剤師会の健全な組織運営が執行されるよう監査している。

〔沖縄県薬事功労者知事表彰〕

村田 美智子 氏

沖縄県薬剤師会女性薬剤師部会に永年に亘って活動に関わり、日本女性薬剤師会薬剤師継続学習通信教育講座の幹旋に尽力した。平成20年に同部会の部会長に就任すると、漢方講座や妊娠・授乳と薬の基礎講座の開催、浦添市乳幼児一般健康診査において薬の相談会を実施するなど、女性薬剤師の資質向上・地位向上に大いに貢献している。これに加え、沖縄県薬剤師会の敷地内にミニ薬草園を開設して沖縄の身近な薬草に関する資料を収集するとともに、沖縄県薬剤師会発行の会報誌「おきなわ薬剤師会報」に連載し、会員へ薬草学の知識向上を図った。

平成23年に同会理事に就任し、保健福祉委員会にて主に自殺予防対策関連を担当し、県の自殺対策連絡協議会にも委嘱され、会員へゲートキーパー薬剤師養成研修の実施や普及啓発に力を注いだ。他にも、学術研修委員会も歴任し、業務に対する誠実さと責任感の強さは会員からも絶対的な信頼と評価を得ており、事業の活性化に大いに貢献した。令和3年には副会長に就任し、県の薬事審議会の委員にも委嘱され、特に、保健福祉分野における薬剤師会の代表として、沖縄県の施策、運営に貢献している。

また、学校薬剤師として、専門的な立場から学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与している。現在も精力的に学校薬剤師活動を続けている。

令和5年度受賞者プロフィール

〔厚生労働省医薬局長表彰〕

新城 光雄 氏

沖縄県の行政薬剤師として、平成3年以降、保健所や薬務主管課にて15年以上にわたり薬事監視員・毒物劇物監視業務に携わり、薬事行政の推進に尽力した。現在も、後継職員の育成に努めている。

〔日本薬剤師会有功賞〕

久貝 節子 氏

離島僻地の病院薬剤師として長年携わり、退職後も同じ土地の卸会社支社に勤務して、離島僻地にある薬局へ良質な医薬品の安定供給・情報提供を行った。

城間 盛光 氏

昭和48年から永年に亘り沖縄県薬剤師会の理事を務め、本土復帰後の社会情勢の激動する中、日本薬剤師会への正式会員としての加入問題に勢力を傾け、入会を実現させた。また、医薬分業推進に積極的に進言し、それを実践に移すべく整備を図った。昭和51年には、戦前戦後を通して初めて九州山口薬学大会を沖縄県で開催、率先して活躍し本大会を成功裡に終了させた。また、沖縄県薬剤師会の試験検査センターと薬事情報センターの設置にも貢献。そして、平成5年から平成14年の間には専務理事として常勤した。

永迫 洋子 氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、沖縄県薬剤師会の女性薬剤師部会へ多大なる協力をし、貢献した。

普天間 公子 氏

那覇市内で薬局を経営する傍ら、那覇地区薬剤師会設立当初の監事を務め、組織の強化と事業の円滑な運営発展に貢献した。同時にかかりつけ薬局及び面分業の推進にも尽力し、地域医療の質の向上に取り組んだ。那覇地区薬剤師会古波蔵支部長も務め、支部の活性化にも尽力した。また、沖縄県薬剤師会の女性薬剤師部会へ多大なる協力をし、貢献した。

令和5年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

山城 恵子 氏

離島僻地において、自ら薬局を開設し、親族とともに、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、沖縄県薬剤師会の組織強化に多大なる協力をした配偶者（故人・元監事）とご子息（広報委員会委員・薬事情報センターと会営薬局の勤務薬剤師）を永年に亘り支え貢献した。

池間 正 氏

沖縄県職員として、主に、県内の保健所に勤務、次長や副所長等の要職を歴任し、沖縄県薬剤師会への指導・助言、監督をした。また、本会の学校薬剤師部会役員に就任し、専門的な立場から、学校保健・環境衛生の改善・指導助言を行った。

眞栄城 紀美子 氏

那覇市内の薬局に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

宮里 郁子 氏

医薬品製造業に係る会社に勤務する傍ら、永年に亘り学校薬剤師を委嘱され、専門的な分野から環境衛生検査を実施、快適な学校環境づくりの指導・助言を行うなど、公衆衛生事業に貢献した。

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

友寄 市子 氏

平成7年に沖縄県立北部病院が院外処方箋を発行するにあたり、北部地区薬剤師会は備蓄センターおよびFAX コーナーの設置および運営が行われることになり、その中心メンバーとして携わり、北部地域の医薬分業の発展に尽力した。また、北部地区医師会病院の薬剤師不足の際には、夜間救急当番で調剤業務を行うなど、北部地域における夜間休日体制を支えた。

北部地区薬剤師会では理事を16年務め、会活動を永年に亘り積極的に関わり、組織運営等を支えてきた。本部・今帰仁・大宜味・国頭・伊江地区担当理事として、関係職種団体とも積極的に連携をとった。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会会長表彰〕

村上 市子 氏

平成15年より学校薬剤師として複数の学校を担当し、専門的立場から積極的に学校保健・学校環境衛生等に関する指導助言を行い、また、「薬の正しい使い方」や「薬物乱用防止に関する講話」なども多く実施している。平成30年より、沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会北部支部長に就き、組織の強化や会員の資質向上を図っている。特に新任の育成にしっかり関わることで滞りなく活動をつなげながら、担当学校薬剤師が講話できない際には代理で引き受けるなど、北部地域の特に遠隔地・へき地の学校保健の発展に寄与している。また、行政にも積極的に関わり、学校薬剤師の地位改善に尽力するとともに、学校環境衛生基準の検査の全項目に向けて検査項目を増やすよう働きかけ、沖縄県薬剤師会試験検査センターの収益にも寄与した。

屋嘉比 康藤 氏

那覇地区薬剤師会理事及び那覇東支部の支部長・副支部長を務め、事業の円滑な運営、組織強化、支部の活性化に尽力した。また、永年に亘り薬局を経営し、身近なかかりつけ薬局として地域住民の健康を支え地域医療の向上に大きく貢献した。

山崎 今日太 氏

平成20年、脳神経科を専門とする開業医の門前薬局に勤務し、内科的疾患から認知症の患者まで多岐にわたり分かり易く服薬指導及びセルフメディケーションを実施してきた。

平成29年からは宮古地区薬剤師会の理事として会運営に積極的に協力し、地区の抱える問題解決に取り組んできた。同時に「おくすり相談会」「薬と健康の週間」の担当者として、整備・運営などを担ってきた。

また、宮古島で開催されるトライアスロン大会の救護班にも毎回積極的に参加し、行政、各医療機関、団体へ宮古地区薬剤師会の存在を示し、会の認知度を高めてきた。

米倉 美帆 氏

平成20年よりうるま市の学校薬剤師に委嘱され、学校環境衛生の指導助言とともに、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止教室に関する講和等を行い、児童らの健康増進に貢献している。

令和2年よりうるま市の介護認定審査会委員を委嘱され、介護認定を行い、地域医療にも貢献している。

令和5年度受賞者プロフィール

〔公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰〕

仲真 良重 氏

昭和63年に沖縄市の小学校の学校薬剤師に委嘱され、現在に至るまで学校長及び養護教諭と連携し積極的に学校薬剤師活動を行い、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等の学校保健、学校環境衛生に関し公衆衛生的見地から指導助言を行っている。

平成6年から令和2年までの永きに亘り、沖縄県薬剤師会会営薬局うえはらで勤務する傍ら、医薬分業の推進に伴う県内の薬局薬剤師の実務研修を実施し、会員の資質向上に貢献した。

平成23年に社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員の公職に就き、診療側、保険者側に偏ることのない公正な審査の立場で保険薬局に指導助言を積極的に行い、沖縄県の保険医療等の充実発展に尽力している。

〔学校保健功労者文部科学大臣表彰〕

大浜 貴子 氏

昭和52年から石垣島及び近隣離島などの複数校の学校薬剤師に委嘱され、以来、44年の永きに亘り学校長及び養護教諭と連携して積極的に学校薬剤師活動を行った。専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等を実施し、また、学校保健及び学校環境衛生に関し学校保健的見地から指導助言を行ってきた。

平成11年からの20年間、沖縄県学校薬剤師会八重山支部の支部長に就き、組織の強化、会員の資質向上を図り、石垣島並びに交通不便な遠隔地・離島へき地の幼小中学校の学校保健の発展に大いに貢献した。

〔日本公衆衛生事業功労者表彰〕

村上 市子 氏

前記の沖縄県薬剤師会会長表彰に記載。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県学校保健会表彰〕

古謝 真己氏

平成15年から宮古島市内の小学校や高等学校の学校薬剤師に委嘱され、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献している。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与している。

崎山 愛子氏

平成7年に私立の小学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数の担当校を受け持ち、平成16年には特別支援学校の学校薬剤師にも委嘱されている。現在も複数校の学校薬剤師として、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献している。また、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等を実施し、児童生徒らの健康増進に貢献している。

吉田 洋史氏

平成15年から宮古島市内の複数校の学校薬剤師に委嘱され、沖縄本島に移住するまで宮古島で学校薬剤師活動を行った。平成25年からは沖縄本島に自ら開局する傍ら、那覇市内の学校薬剤師をしている。専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献している。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与している。

〔沖縄県公衆衛生大会長表彰〕

村田 成夫氏

平成2年に高等学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、離島を含む複数校の学校薬剤師を現在も担当し、その専門性を活かして学校環境衛生検査を通して学校側に適切な指導助言を行い、学校環境衛生及び学校保健の向上に努め、児童生徒らの健康増進に貢献している。また、県内外の会議や研修会に率先して参加し、そこで得た知識は伝達講習会等にて会員に還元され、学校保健への助言に大いに役立てている。

平成19年には沖縄県学校薬剤師会の副会長、平成27年からは部会長に就任し、会の組織強化と会員の資質向上に努めている。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

新垣 正信 氏

読谷村内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、沖縄県薬剤師会理事も務めた。

安座間 ヤス子 氏

石垣市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

伊佐 眞二郎 氏

宜野湾市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

石川 元信 氏

沖縄県内の医薬品卸会社に務める傍ら、沖縄県薬剤師会の学術研修委員、調剤事故・過誤対策委員、保健福祉委員に委嘱され、会が開催する生涯教育の一環として県内各地区、支部単位の研修会の講師を永年に亘り継続して務め、会員の資質向上に大きく貢献した。学校薬剤師としても永年に亘り、水質検査・照度検査等を行い、学校環境衛生の向上に寄与した。

また、薬業団体や看護学校等においても講師を務め、基礎薬学や薬の適正使用などの啓発・教育を実践し、薬学的知識の向上に寄与している。

伊禮 壽子 氏

沖縄市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

昭和47年より学校薬剤師として学校環境衛生の重要性や日常検査の大切さを説き、児童生徒へ学校環境衛生の教育活動を行い学校保健の発展に寄与した。また、沖縄県学校薬剤師会の副会長として会の組織強化と会員の資質向上に大きく貢献した。

上原 繁猛 氏

実家が薬店を経営していたことから後を継ぐも、薬剤師業とはまったく別業態の回転寿司店や沖縄そば店を開店させる。薬剤師として培った知識を食育という場面で大いに役立て、現在も老舗の沖縄そば店を経営している。薬剤師であることを誇りに50年以上会に所属しており、会の発展に大いに寄与している。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

上間 淳子 氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、沖縄県薬剤師会女性薬剤師部会へ多大なる協力をし、貢献した。

大浜 貴子 氏

石垣市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

学校薬剤師としてのプロフィールは、前記の学校保健功労者文部科学大臣表彰に記載。

萩堂 盛浩 氏

北部地域に根差した薬局運営の傍ら、平成7年の県立北部病院の院外処方せん発行に尽力し、北部地域における医薬分業の発展に貢献した。学校薬剤師としても今帰仁村内の学校を担当し、学校保健の充実と発展に尽力した。

小那覇 幸子 氏

昭和51年に那覇市内に開局し、永年に亘り地域住民のかかりつけ薬局として、調剤、OTCはもちろん、漢方相談薬局の看板も掲げ、地域住民の健康を支えている。また、沖縄県薬剤師会及び那覇地区薬剤師会の理事を務め、組織の運営、確立に貢献した。

神谷 朝雄 氏

沖縄県内の大手医薬品卸売販売業に永年に亘り従事し、医薬品の品質管理・安定供給に尽力するとともに、医薬品の情報提供のうち、特に患者の生命に危険のある情報の開示と啓蒙に努力し、社員教育、後進の薬剤師の育成指導等、薬剤師業務の発展向上に寄与した。また、県内の各薬局へ労務提供し、薬局の設立、医薬品の品質管理等の指導を行った功績は大きい。

沖縄県薬剤師会卸勤務薬剤師部会代表理事として会務に関わり、また、財務担当理事を経て監事として会の健全な財務管理・運営に尽力するとともに、会の発展に貢献した。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

神山 康博 氏

昭和50年に名護市内に開局して以来、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供に永きに亘り行っている。また、学校薬剤師を30余年務め、地域の公衆衛生向上に貢献した。さらに、「健康とおくすり相談会」や「ダメ。ゼッタイ。普及運動6.26街頭キャンペーン」にも参加するなど、地区薬剤師会や地域活動にも積極的に協力している。

川満 建英 氏

地元である宮古島市を主に、自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

佐喜真 喜美 氏

沖縄市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

島袋 勇 氏

沖縄市と浦添市内に自ら薬局を開設し、親族とともに、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、長年薬剤師不足であった沖縄県薬剤師会会営薬局にご子息2名を勤務させ、本会の組織強化に多大なる協力をした。

島袋 徳子 氏

沖縄市内に配偶者が経営する薬局に永年従事し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。長年薬剤師不足であった沖縄県薬剤師会会営薬局にご子息2名を勤務させ、また、地元紙に薬剤師職能の啓発投稿をするなど、本会の組織強化に多大なる協力をした。

平良 信隆 氏

那覇市、浦添市、南部地域の薬局に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

平良 初枝 氏

北谷町内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。現在も保険薬局に勤務している。また、昭和47年から平成25年の間、町内の幼稚園、小学校、高等学校の学校薬剤師に委嘱され、専門的な立場から、学校環境衛生の検査等を通して、学校長、養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善につなげ、健康教育に関する指導助言、資料提供等を行い、快適な学校環境づくり、学校保健活動の向上に貢献した。

田仲 和恵 氏

県内全域に配偶者が経営する薬局・薬店を永年に亘り従事しながら支え、もしくは開設者にもなり、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

玉那覇 昌保 氏

那覇市と浦添市内に、配偶者とともに薬局と薬店を開設し、永年に亘り良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

玉寄 睦子 氏

八重瀬町内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。学校薬剤師としても永年に亘り、水質検査・照度検査等を行い、学校環境衛生の向上に寄与してきた。また、沖縄県学校薬剤師会や沖縄県薬剤師会の役員も務め、組織の発展に貢献した。

仲井間 清 氏

沖縄市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。中部地区薬剤師会沖縄支部長として組織強化に努める傍ら、地域住民への医薬分業の啓発普及を行うとともに、会員と連携してかかりつけ薬局の育成強化に貢献した。また、学校薬剤師として学校医と連携を密にしながら、学校保健計画の策定に積極的に関与して、児童・生徒の学校環境衛生管理及び保健指導に尽力した。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

仲西 英雄 氏

浦添市、沖縄市、糸満市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

中原 慶子 氏

沖縄市内に配偶者ととともに薬店を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

野崎 真敏 氏

沖縄県の行政薬剤師として、衛生環境研究所等に永年従事し、沖縄県の環境・衛生対策に多大なる貢献をした。沖縄県を退職後は、沖縄県薬剤師会の試験検査センター委員会や選挙管理委員会の委員長に委嘱されるなど、組織の発展に大いに貢献した。また、学校薬剤師としても永年に亘り、水質検査・照度検査等を行い、学校環境衛生の向上に寄与した。

花城 公子 氏

浦添市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、沖縄県薬剤師会会営薬局の初代管理薬剤師を務め、組織の発展に貢献した。

福里 千賀子 氏

うるま市や那覇市内の薬局に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

平安山 春江 氏

沖縄市内の薬店に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、沖縄県薬剤師会に優美な撮影作品を投稿し続け、「おきなわ薬剤師会報」の進展に大いに貢献した。

令和5年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

宮城 正明 氏

浦添市内の病院や薬局に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

宮平 早苗 氏

那覇市、糸満市内の薬局に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

山城 秀子 氏

石垣市内の病院に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

屋良 朝昇 氏

浦添市内の卸会社や薬局に永年従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

吉田 龍介 氏

恩納村、うるま市、糸満市等に自ら薬局を開設し、親族とともに良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。特に、中部地域に休日夜間営業の保険薬局を開局し、中部地域の救急医療体制に多大なる貢献をしている。その傍ら、中部地区薬剤師会の役員も務めて組織強化に努めた。また、学校薬剤師としても永年に亘り、水質検査・照度検査等を行い、学校環境衛生の向上に寄与した。

與那嶺 朝子 氏

宜野湾市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。その傍ら、学校薬剤師として地域の複数校を担当し、薬物乱用防止教室、環境衛生検査などを実施し、学校保健活動の向上に貢献している。また、若手学校薬剤師の発掘と育成、教育委員会との交渉、学校薬剤師の地区研修会の実施にあたるなど、学校薬剤師の資質向上に貢献した。

沖縄県公衆衛生大会長表彰 沖縄県保健所長会長表彰



幸地 良信先生、池間 博則先生、松田 聖子先生、
おめでとうございます

1月9日に開催された第55回沖縄県公衆衛生大会で、公衆衛生への功績を認められた21人が表彰されました。本会からは、幸地良信先生（沖縄県公衆衛生大会長表彰）、池間博則先生（沖縄県保健所長会長表彰）、松田聖子先生（沖縄県保健所長会長表彰）が受賞となりました。

令和6年1月13日（土）沖縄タイムス
※発行元が記事利用を許諾しています。

公衆衛生に尽力 21人を表彰

県大会 地域の健康推進貢献

第55回県公衆衛生大会（主催・県、県公衆衛生協会）が9日、那覇市の沖縄産業支援センターであった。地域の健康推進や食生活改善事業などに貢献した医師や保健師、管理栄養士ら21人が表彰された。

県の系数公保健医療部長は「新型コロナウイルスの経験をいかすために私たちがやるべきこと」と題して講演し、「高齢化が進む県内で次のパンデミック（世界的大流行）に備えるために、さまざまな視点で議論を深める必要がある」と述べた。

被表彰者は次の通り。
（敬称略）

【知事表彰】比嘉良喬、平良礼子、富永正哉、粟國江美子、山内盛雄、上原八重子【県公衆衛生大会長表彰】翁長春彦、新里脩、真志取浩貴、長堂忍、幸地良信、金城美香、玉城正幸、玉那覇真弓、比嘉秀樹、玉代勢道子【県保健所長会長表彰】池間博則、徳嶺盛男、松田聖子、西表貴也、宮城智恵子



系数公部長（左）から表彰状を受け取る功労者ら＝9日、那覇市・沖縄産業支援センター



幸地良信先生（右）と前濱朋子会長

沖縄県公衆衛生大会長表彰・幸地良信先生

幸地先生は、平成20年に石垣市立八島小学校の薬剤師に委嘱され、以来、複数校の学校薬剤師を今現在も担当し、その専門性を活かして学校環境衛生検査を通して、学校側に適切な指導助言を行い、学校環境衛生及び学校保健の向上に努め、児童生徒らの健康増進に貢献されたことで今回の受賞となっております。

幸地良信先生、この度の受賞、誠におめでとうございます。

（文：事務局 平安山 丈継）

学術研修

令和5年度第3回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会報告

「小児薬用量設定の基本となる薬物動態の知識」

日時：令和5年12月10日（日）10：00～11：30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

学術研修委員会
春田 崇彰



12月12日に開催された沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会に参加しました。講師は群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学分野教授の山本康次郎先生でした。

「一般の人を対象とする医薬品の開発において基本的には小児・高齢者・妊婦に対する臨床試験は特に必要でなければ行われない。添付文書上の記載ではどうしてよいのか分からないのが普通。特殊な母集団に対する薬物療法をどうするか、薬物動態の特殊性を考慮して推測していくことが必要」とのお話がありました。

例えば小児に特有な問題として、①発達途上であるということ→成長、成熟に及ぼす影響を考慮する必要がある。②余命が長い→長期的な影響を考慮する必要がある。③本人から情報を得ることができない→自ら症状を訴えない、他覚症状もわかりにくい。④本人の理解力・運動能力が十分でない→飲んではいけない薬を勝手に飲んでしまう、吸入薬をうまく吸い込めないなど合理的な行動、特殊な操作ができない。といったことが挙げられ、



講師

山本 康次郎

群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学分野教授

このため、成人用に開発された医薬品の成分が小児に対しても有効であると期待できる場合、適用可能な剤形があるか、小児に適した用量の調剤が可能か、その場合用量はどのように決めればよいかを考えるとのことでした。一般論としてYoungの式やAugsbergerⅡ式、von Harnackの表がありますが、体表面積に基づくAugsbergerⅡ式、von Harnackの表が比較的有用であること、また、TDMの考え方からみれば濃度作用関係は変わらないことから、同じ血中濃度にすれば受容体レベルでの反応は同じため同じ効果が期待できるものとしてとらえるとのことでした。もちろん受容体発現量、受容体刺激後の反応、生理機能が及ぼす影響などが小児と成人では同一とは限りませんが、有効血中濃度に当てはめると効果を期待でき、副作用発現率も低下するとのことでした。

また、薬物動態を決定する因子として「分布容積」「クリアランス」についてのお話がありました。分布容積は、薬物が体内にどれだけ広がるかの目安であり、血中濃度を指標とするもので、クリアランスは、薬物を血液から除去する能力で、薬物の消失速度をその薬物を含む血液量に変換したものと教えていただきました。

今回、小児と成人での薬物量の考え方や薬物はどう入ってどう代謝され消えていくのかという薬物動態、ADMEについてご教授いただきました。薬物動態について今後も学習していきたいと思います。

月例相談会

第188回健康とおくすり相談会報告

日時：令和5年11月12日（日）10:00～15:00

場所：沖縄セルラースタジアム那覇

担当：那覇地区薬剤師会

ももたろう薬局なは店
桃原 泰誠



令和5年11月12日午前10時からセルラースタジアム那覇の軒下において開催しました。当日はあいにくの雨模様で足取りが気になりました。その日は他のイベント（歩け歩け運動など）も多くあり出だしは悪かったですが、少しずつ骨密度、血圧測定をされる方が増えてきました。他のイベントで多くの方がセルラースタジアム那覇に来場されている関係もあり、おくすり相談会も105名の来場者数となり大盛況でした。また、その日は学会大会と重なり相談員は少なかったですが、スタッフ全員でカバーできたと思います。

骨密度に対する関心はかなり高く特に女性の方からの質問が多くみられました。「骨密度が低いとどうなるのか」「骨折したことがあるが密度は落ちるのか」「今服用中の薬との関係はあるのか」、さまざまな質問を受けました。

中にはおくすり手帳を持参して詳細な説明を求める高齢者もいました。骨密度、血圧測定をすることで今抱えている疾患、病気のことなどの相談も多くありました。普段なかなか病院、薬局などで相談できないことから「相談会」があることはとても有効だと感じました。

また、沖縄県は「長寿県」というイメージが国民の中にはありますが、現在は全国で25番あたりの平均寿命となっています。戦前、戦後のスローライフから一気に高脂肪、高糖質の食生活になったと思われます。この欧米化の食生活などで脂質の摂取により動脈硬化、肥満、糖尿病などの疾患、病気が増えています。こういう背景から我々薬剤師も少しでも健康相談の場を増やして「食事指導を含めた薬の服用、説明」などを啓蒙していかなければならないと感じました。



おくすり相談会会場風景

地道なことです。こういう機会（場）を通して沖縄県の長寿健康を取り戻せたら良いのではないかと感じた一日でした。こういう機会がまたあれば積極的に参加をして行きたいと思います。

◇健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- 吉田 洋史 ○吉田 安樹
- 又吉 智賀子 ○外間 安次
- 山城 晶 ○桃原 泰誠



左から桃原泰誠、山城晶、又吉智賀子、古謝玄太（沖縄県薬剤師会副会長）、吉田洋史（敬称略）



左から吉田洋史、外間安次、桃原泰誠、吉田安樹、又吉智賀子（敬称略）

会報原稿募集のご案内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

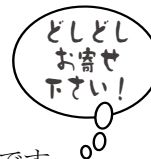
【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。



☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

卸勤務部会

日本医薬品卸勤務薬剤師会2023年度「フォーラム」参加報告

日 時：令和6年1月18日（木）14：00～15：30

開催方法：Web 配信

株式会社ダイコー沖縄
前原 律子



コロナ前までは、現地開催のみでしたが、今回はライブ配信のみのフォーラムとなりました。「地域における卸勤務薬剤師の活動について」というテーマで、2つの発表がありましたので、ご報告させていただきます。

1. 九州ブロック：九州ブロックWEB合同研修会へのチャレンジ

コロナ禍を機に、研修の方法を見直さざるを得ない状況になり、継続研修会について協議が行われた。

テーマ：Withコロナの継続研修へのチャレンジ

目 的：JGSP基準10時間／年を目指そう

方 針：九州ブロック1支部1WEB講座を担当して、全支部で年間10時間をクリアしよう

会員数の違い、今までは各支部のみで開催していたこともあって、チャレンジするにあたって、アンケート形式で事前調査を行って、各支部がスムーズに運営できるように支部役員等が努力されているのが分かりました。こうして決まった方針は以下の通りです。

◎1支部が1講座で受け持ってWEB研修を開催しよう

◎テーマ・講師は支部で決めて良い

◎2023年11月から2024年3月まで実施する

◎支部でのWEB研修実施は、「ハイブリッド」「集合」「WEBのみ」選択可能

◎ツールはTeamsウェビナーで事務局がキーとなる

◎WEB研修会の進行は、担当支部が行う

2023年11月に熊本支部からスタートして、4回の研修が終了しています。

研修後のアンケートも実施しています。

●受講後の良い点

- ・WEBなので会場へ移動しなくてよい
- ・九州各支部の講演を受講できる 等

●プロジェクトメンバーへのアンケート

（苦労した点、大変だと思う点）

- ・会社の仕事が忙しい時にいろいろしなくてはいけなくて、目が回りそうだった
- ・会員数が多い支部は協力者が多くてよいが、そうでない支部は負担が大きすぎる 等

(今までの研修会と比べて、良かった点、悪かった点)

- ・10時間の研修目標を達成するのに助けになっている
- ・より多くの他の県の先生の話聴く機会は貴重だと思う
- ・集合しないため、大きな会場が不要 等

【成果】

- ・九州ブロック全体でWEB継続研修を実施できた（やり方などの確認ができた）
- ・他支部とのつながりが強化できた 等

【来期 合同WEB研修を開催するとしたら・・・】

- ・方針や年間スケジュールを早めに決定して、準備期間を十分とる
- ・テーマの選定、講師の選定・依頼などは会員全体で協力する 等

3年間のコロナ禍を経て、withコロナでいろいろなことが変更、改善を求められている現在、九州ブロックの継続研修のあり方、チャレンジは大きな成果を得ることができたと思います。

2. 北陸ブロック：薬剤師が携わる業務と不在時対応について

許認可管理、温度管理、特殊な製品の管理→新型コロナ出社停止→不在時対応

アンケート形式による実態調査の実施

◎流通管理品目

担当者不在時

- ①他の支店の担当者が確認
- ②担当者出社後の納品をお願い

営業時間外に初回注文が来た場合

- ①メーカーから納品可の返答

困った事例

- ・確認、納品に時間がかかり、クレームを受けた
- ・薬剤師、代行者が退社後に受注があり、支店長から薬剤師に連絡があり出勤対応した

工夫した事例

- ・他の事業所の薬剤師に確認してもらう
- ・担当者不在時は他事業所の薬剤師に連絡できるよう、事前依頼している

◎麻薬・覚醒剤原料

担当者不在時

- ①担当者出社後の納品をお願い

営業日の時間外に注文が来た場合

- ①翌営業日の納品をお願い

②所属長の承認があれば納品

営業日の時間外や、休業日の出庫は誰が対応するのか

- ①担当者（薬剤師を含む）
- ②必ず薬剤師

困った事例

- ・代行者が作業に不慣れなため、製品番号順に出庫できなかった

工夫した事例

- ・出庫時のマニュアルを作成した
- ・時間外出庫は、原則納品禁止で、お断りするように伝えている

◎許認可確認

困った事例

- ・許認可等を確認できないために納品を断ったところ、クレームがきた

工夫した事例

- ・許認可等が確認できない先への納品ができないことを常に徹底する

恐らく、各支店に薬剤師が不在の場合、代行者をおいていると思いますが、麻薬・覚醒剤原料等は法律的にも厳しく規制されているので、座学、実作業など教育訓練をしっかり実施することが重要であると改めて感じました。

また、流通管理品目の納品までの流れ（時間がかかる）を得意先に理解してもらうこともクレームにならないようにするためには必要なことだと思います。

お知らせ

沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawayakuren/>

薬事情報おきなわ No. 278

2024年 1-2月号 : Vol. 38 No. 5

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2023年12月20日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
注射薬	フェトロージャ点滴静注用1g	1g1瓶	20,203	塩野義製薬	セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩:シデロフォアセファロ スボリン系抗生物質製剤(適応菌種)セフィデロコルトに 感性の大腸菌、シトロバクター属、肺炎桿菌、クレブシエ ラ属、エンテロバクター属、セラチア・マルセスセンス、プ ロテウス属、モルガネラ・モルガニー、緑膿菌、バークホ ルデルシア属、ステプトロホモナス・マルトフィリア、アシネト バクター属 ただし、カルバペネム系抗菌薬に耐性を示 す菌株に限る。(適応症)各種感染症(新有効成分)
	レケンビ点滴静注200mg	200mg2mL1瓶	45,777	エーザイ	レカネマブ(遺伝子組換え):ヒト化抗ヒト可溶性アミロイド β凝集体モノクローナル抗体(アルツハイマー病による 軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制)(新有効 成分)
	レケンビ点滴静注500mg	500mg5mL1瓶	114,443		

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



Medical News

●厚生労働省 大麻グミ等販売禁止に-成分含有38製品を 告示(薬事日報12月25日)

厚生労働省は21日、指定薬物の成分を含む製品以外で、
生産・流通を広域的に規制する必要があると認められ
た38製品について、医薬品医療機器等法に基づく官報
告示を実施した。大麻グミに含まれる「HHCH」に化学
構造が類似する「HHCP」など5成分が含まれると見られ
ている。厚生労働省によると、大麻グミの成分であるHHCH
が2日に指定薬物に指定されて以降、類似構造を持つ
HHCPやTHC-POなど5成分を含む製品が流通し、健康被
害を及ぼす事例も確認されているという。販売形態は、
クッキー、グミ、紙、ワックスなど多岐に渡る。

●規制改革会議WG 濫用薬の販売停止要求-厚生労働省否 定的(薬事日報12月26日)

政府の規制改革推進会議健康・医療・介護ワーキング
グループが21日に開かれ、委員からは若年層の市販薬
濫用が社会問題化している現状を重く見て、コデイン
など濫用の恐れのある医薬品6成分について、代替成
分への移行や一時的な販売停止を求める声が出た。こ
れら意見に厚生労働省は難色を示し、販売規制の強化
による対応を強調した。

●インテージ・23年売れたもの 強心剤、口紅が伸び 率上位(薬事日報12月27日)

インテージは、日用消費財の中で何がより売れたかを
推定販売金額の伸びから振り返る「2023年売れたもの
ランキング」を発表した。それによると、1位は強心剤
で、2位に口紅が入り、コロナ禍の時期に苦戦していた
商品の復調が明らかになった。一方、販売苦戦ランキ
ングでは1位に体温計、2位に殺菌消毒剤が入り、3位と
なったマスクは夏場以降は前年比6割台と低迷した。

●珠洲市に「移動薬局車」派遣…高血圧など200種類 の薬提供(読売新聞1月7日)

厚生労働省は7日、能登半島地震の被災者に薬を提供
する「移動薬局車」(モバイルファーマシー)が、石
川県珠洲市に派遣されたと発表した。石川県が同県薬
剤師会に要請し、日本薬剤師会が調整していた。現地
に入ったのは岐阜県薬剤師会と岐阜薬科大の移動薬局
車。薬剤師と日本医師会の災害医療チーム(JMAT)の
医師が同行している。高血圧や糖尿病の治療薬など約
200種類の薬を供給できる。災害救助法に基づき、被
災者は費用負担なしで利用できる。今後、2台が追加
で派遣される予定という。

●チャットGPT、副作用見逃す-高血圧薬情報の大半 不一致(薬事日報1月15日)

米国の医薬品情報データベース「レキシコンP」に搭
載されている米国食品医薬品局(FDA)承認の高血圧治
療薬30品目の副作用情報について、生成AIのチャット
GPTにより生成された内容と比較したところ、全て一
致した品目はわずか2品目(6.7%)にとどまったこと
が、岩手医科大学薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分
野の松浦特任教授らの研究で明らかになった。生命に
直結する医薬品情報は100%の正確性が求められるが、
現時点でチャットGPTは薬剤師業務を代替できないと
考えられた。今後、生成AIをどのように薬剤師業務に
活用できるか一層の検討が求められそうだ。

●「特例で限定出荷解除」を、視察の武見厚労相に要 望 石川県薬(日刊薬業1月18日)

石川県薬剤師会の中森会長は18日、金沢市内を視察で
訪れた武見厚生労働相と対面し、被災地で必要とされ
る医薬品を確保するため製薬各社が石川県内で特例的
に医薬品の限定出荷を解除するような施策を講じるよ
う要望を出した。また、自身が経営する薬局から聞き
取りを行い、去痰剤カルボシステインや解熱鎮痛剤カ
ロナール、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤モン
テルカストなど10種類の薬が納品できていない状況も
伝えたという。

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

女性アスリートの診療上の留意点は？

—アンチ・ドーピング—

産科と婦人科 1月号

アンチ・ドーピングはアスリートの健康を守り、スポーツの土台を支える公平性を保つという役割がある。婦人科領域で使用されるOC/LEPやプロゲステン製剤、経皮エストラジオール製剤は禁止物質を含んでおらず使用可能である。また、緊急避妊薬であるレボノルゲストレルやGnRHアンタゴニストであるレルゴリクスも使用可能である。リュープロレリンなどのGnRHアゴニストは、男性は禁止であるが、女性には使用可能である。禁止物質・方法を治療目的で使用しなければならない場合は、治療使用特例（TUE）を申請し、認められれば使用可能である。注意すべきものをあげると、漢方薬は全ての成分を明らかにできないため、原則アスリートでは使用しない。風邪薬やのど飴なども禁止物質を含むことがあり注意が必要である。サプリメントも全ての成分を表示する義務がないことや製造過程で禁止物質が混入している事例もあり、競技者自身の自己責任での摂取となる。クロミフェンやレトロゾール、選択的エストロゲン受容体調節薬などは禁止物質である。

江東病院産婦人科
宮国 泰香

日常診療で役立つ皮膚科治療薬の選び方・使い方

ステロイド外用薬

medicina 1月号

ステロイド外用薬の作用機序を理解するためには、まず皮膚の構造を知っておく必要があります。皮膚は大きく3層に分かれており、体表側から順に表皮、真皮、皮下組織と呼びます。皮膚におけるステロイドの主な作用は①活性化した細胞の抑制と②血管の収縮の2つです。塗布されたステロイドは、まず表皮内の炎症細胞や表皮細胞に取り込まれ、抗炎症効果を発揮します。そして表皮で吸収されなかったステロイドは、真皮上層に到達し、毛細血管を収縮させて血管透過性を低下させることも、抗炎症に繋がるわけです。一方、下層～皮下組織へはほとんど届かないので、効果は期待できません。湿疹（接触皮膚炎など）は原因物質が体の外から皮膚に接触するため、外側（表皮）から病変を形成して表面がざらざらになります。一方、薬疹や蕁麻疹などでは体内に取り込まれた原因物質が血流に乗って皮膚に侵入するため、内側（真皮）から病変を形成して表面はつるつるです。このように、表面の変化から病変の存在部位と原因を推測することができるのです。

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
松田 光弘

壮年期のメンタルヘルス

治療 2月号

40～50代は、社会的、家庭的、身体的、心理的に変化が大きく、労働や子育てなどで社会的責任が最も大きい年代である。また、身体機能の低下を徐々に自覚し始め、健康維持が気になり始める年代でもある。安定と不安定、若さと老い、獲得と喪失が共存する年代であり、いままで積み重ねてきたものを問い直し、時には人生の危機に直面する年代でもある。2022年の自殺者数は、年代別では50代について、40代が多い。また、男性の自殺者数が女性の約2倍多い理由の1つに、「男性は強くあらねばならぬ」、「周囲に弱みをみせてはいけない」といったtoxic masculinity（有害な男らしさ）があると考えられる。役職が上がるほど、周囲にも相談できず、ひたすら孤独に耐え、耐えきれずに自ら命を絶つケースも多い。こうした自殺や孤独の重症化を防ぐには「責任ある立場の人ほど周囲に頼りづらい」という点について理解し、対処していく必要がある。患者の訴える「表面的な身体症状・精神症状」の背景にある「心理・社会・経済的要因」に早期に気づき、適切な支援につなげていく必要がある。

新潟医療福祉大学リハビリテーション学部
鍼灸健康学科 津田 篤太郎

軟膏やクリーム剤を混合する際の留意点は？

調剤と情報 1月号

一般にステロイド軟膏の混合はステロイド成分の希釈を目的に行われることが多いが、目的どおりに希釈される可能性は低い。近年ではステロイド軟膏と保湿クリーム剤とを混合する処方が増加傾向にあり、油脂性基剤である軟膏とクリーム剤（W/O型またはO/W型）との組み合わせは主成分皮膚透過性にも注意が必要となる。例えばリドメックスコーワ軟膏と尿素クリームあるいは尿素油性クリームとの混合（1：1）によりステロイド自体の濃度は1/2に希釈されるものの、皮膚透過速度は、少なくとも4倍以上に増加する事が報告されている。主成分の皮膚透過性の亢進は、混合によって基剤が乳化され、軟膏基剤中に析出していたステロイドの結晶の一部が溶解したためであることが考えられる。クリーム剤や液滴分散型軟膏の顕微鏡画像は美しく、医薬品メーカーによって熟慮された製剤処方によって製造されている事が良くわかる。混合によって利便性以外のメリットがあり、混合後の安定性が確実に担保できている場合でない限り、原則的には皮膚外用剤の混合は控えるべきであると考えられる。

帝京平成大学 薬学部
山本 佳久



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

調剤

2023年
No.12
事例1

外観が類似した薬剤の戻し間違い



事例

【事例の詳細】

患者に、カロナール錠500 1日3錠1日3回毎食後5日分が処方された。薬剤師はカロナール錠500の箱から15錠を取り出し、調剤監査支援システムを使用して照合したところ、エラーが表示された。取り揃えた薬剤のうち端数の5錠がメトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ニプロ」であることがわかった。

【背景・要因】

この患者の薬剤を調製する前に、別の患者に処方されたカロナール錠500とメトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ニプロ」を調製した。その際、残ったメトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ニプロ」の端数を、包装のイメージが似ていたカロナール錠500の箱に誤って戻していた。

【薬局から報告された改善策】

薬剤を収納場所に戻す際は、薬剤棚や箱の薬剤名を薬剤と照合することを徹底する。



その他の情報

販売名	カロナール錠500	メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ニプロ」
薬効分類	解熱鎮痛剤	ビグアナイド系経口血糖降下剤
PTPシートの画像		

あゆみ製薬株式会社のホームページより
(参照2023年12月15日)

ニプロ株式会社のホームページより
(参照2023年12月15日)



事例のポイント

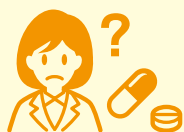
- 本事例は、薬剤調製時に生じたPTPシートの端数を、誤って他剤の箱に戻したことにより、別の患者の薬剤調製時に間違いが起きた事例である。本事業には、調製時にカロナール錠500とメトホルミン塩酸塩錠500mgを取り違えた事例が、2020年4月1日～2023年10月31日に33件報告されている。
- カロナール錠500とメトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ニプロ」は、薬剤名は似ていないが、劇薬であること、規格が500mgであること、錠剤の形状が楕円形であること、外箱とPTPシートに緑色が使われていることなどの共通点から、誤認識する可能性が考えられる。
- PTPシートを取り扱う際は、シートの表裏を1枚ずつ確認する必要がある。外観イメージにとらわれずシートに記載されている薬剤名を確認することが重要である。
- 本事例では、調剤監査支援システムを用いたことで、薬剤の取り違えに気付いた。取り違えた薬剤の交付を防ぐには、目視による確認だけでなく、調剤監査支援システムなどの機器を用いることも有用である。
- 本事例には、錠剤を戻し間違えたことが取り違えが起きた要因として記載されている。薬剤棚や箱への戻し間違いを防ぐには、薬剤を戻す際に複数人で確認する、調剤時以外の時間帯に作業するなどの対策を講じる必要がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

2023年
No.12
事例2

疑義照会・処方医への情報提供

同じ名称で組成が異なる漢方製剤への変更



事例

【事例の詳細】

患者に、ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒（医療用）1日5g 1日2回朝夕食前が処方された。製薬企業の出荷制限により当薬剤が入荷しないため、薬剤師はクラシエ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス細粒1日6g 1日2回朝夕食前に変更できないか処方医に提案しようとした。しかし、土曜日の午後であり医療機関は診療時間外で連絡がつかなかった。薬剤師は患者に残薬があることを確認し、調剤を保留した。週明けの月曜日に改めて処方医に連絡したところ、処方医から、患者は胃腸が弱く、下痢をしやすいことを考慮してダイオウを含有しないツムラの漢方製剤を選んでおり、変更しないよう返答があった。ツムラの柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒（医療用）の入荷を待って、交付することになった。

【推定される要因】

薬剤師は、名称が同じ漢方製剤であっても製薬企業によっては組成に違いがあることを把握していなかった。

【薬局での取り組み】

出荷制限等により、処方医に漢方製剤の変更を提案する際には、組成などをしっかり確認したうえで問い合わせを行う。



その他の情報

販売名	ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒（医療用）	クラシエ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス細粒
	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。	本品1日量（6.0g）中*
組成	日局サイコ 5.0g	日局サイコ 5.0g
	日局ハンゲ 4.0g	日局ハンゲ 4.0g
	日局ケイヒ 3.0g	日局ケイヒ 3.0g
	日局ブクリョウ 3.0g	日局ブクリョウ 3.0g
	日局オウゴン 2.5g	日局オウゴン 2.5g
	日局タイソウ 2.5g	日局タイソウ 2.5g
	日局ニンジン 2.5g	日局ニンジン 2.5g
	日局ボレイ 2.5g	日局ボレイ 2.5g
	日局リュウコツ 2.5g	日局リュウコツ 2.5g
	日局ショウキョウ 1.0g	日局ショウキョウ 0.8g
		日局ダイオウ 1.0g
		上記の混合生薬より抽出した柴胡加竜骨牡蛎湯エキス粉末3,900mgを含有する。

※組成を比較しやすいよう、添付文書に記載されている組成の記載順を変更した。
(2023年12月15日現在)



事例のポイント

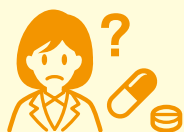
- 本事例は、処方されたツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒（医療用）の入手が困難であった際、クラシエ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス細粒への変更を処方医に提案した事例である。薬剤師は処方変更を提案する際、漢方製剤の組成を確認せず、処方医の処方意図を考慮しなかった。
- 漢方製剤は、名称が同じであっても、製薬企業によっては組成が異なる場合がある。医療用医薬品の柴胡加竜骨牡蛎湯は、ツムラ以外の製剤はダイオウを含有しており、下痢、軟便のある患者や妊婦、授乳婦など、特定の背景を有する患者への処方に注意する必要がある。
- 処方された漢方製剤が出荷制限等により入手できず、薬剤師から薬剤の変更を提案する場合は、製剤の組成や患者の状況などを確認したうえで、処方医に対して適切な情報提供や処方提案を行うことが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

2023年
No.12
事例3

名称類似薬の処方間違い



事例

【事例の詳細】

30歳代の患者に、PL配合顆粒とアスペノンカプセル20が処方された。薬剤師が患者に症状の聴き取りを行ったところ、咳症状で受診しており不整脈の症状はないことがわかった。薬剤師が処方医に疑義照会を行った結果、アスペノンカプセル20はアスピリン錠20の処方間違いであったことが判明した。

【推定される要因】

医療機関で処方入力を行う際に、「アスヘ」の3文字を入力して表示されたアスペノンカプセル20を誤って選択したと思われる。

【薬局での取り組み】

アスペノンとアスピリンの処方間違いについて、製薬企業からの注意喚起文書を読んだ記憶があったため、患者から聴取した症状と照らし合わせ、処方間違いの可能性があると判断した。今後も、薬局のスタッフに公表物などの情報を周知し、共有する。



その他の情報

販売名	アスピリン錠10/20	アスペノンカプセル10/20
有効成分	チベピジンヒベンス酸塩	アプリンジン塩酸塩
薬効分類	鎮咳剤	不整脈治療剤

(2023年12月15日現在)



事例のポイント

- 本事例は、患者から聴き取った症状から、薬剤師が名称が類似していて薬効が異なる薬剤の処方間違いを疑い、疑義照会を行った事例である。本事業には、アスピリンとアスペノンの処方間違いに気づき疑義照会を行った事例が2020年4月1日～2023年10月31日に69件報告されている。
- 本事業に報告された名称が類似している薬剤の処方間違いの事例は、「アスピリンとアスペノン」の他に「マイスリーとマイスタン」、「セロクエルとセロクラール」、「ノルバスクとノルバデックス」などがある。
- 誤った薬剤の交付を防止するには、処方間違いや薬剤の取り違えが起きやすい薬剤について、定期的にスタッフに注意喚起する、処方マスタの薬剤名に薬効分類名を追記する、薬品棚等に「名称類似注意」の札を取り付けるなど、具体的な対策を講じることが重要である。


公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくなるため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

〔質問〕頭に湿疹ができて膨らんできたので皮膚科で切除した。まだ痒みがあったので、トプシムローション（一般名：フルオシノニド）とビラノア（一般名：ビラスチン）をもらった。トプシムローションは副腎皮質ホルモンというもののみたいだが、使っても大丈夫ですか。また、前にももらったリンデロンクリーム（ベタメタゾン吉草酸エステル）が残っているがどっちを使った方が良いですか。

〔回答〕副腎皮質ホルモンの外用薬は腫れやかゆみなどの症状を改善します。決められた用法・用量を守って正しく使えば心配はありません。また、頭皮に使用する場合軟膏やクリームだと塗りにくいためローションのような液剤タイプが使用されます。リンデロンクリームはトプシムローションとは成分が異なりますが、同じ副腎皮質ホルモン剤に分類されます。どちらが良いかといった質問ですが、症状や部位によって処方される薬剤は異なりますので、今回処方された薬剤を使用するようにしてください。

〔質問〕睡眠薬を飲んでも眠れず、心が不安定でわさわさが続いている。頓服薬のロラゼパムとリスペリドンを飲んでも効いてないみたい。どうしたらいいですか。

*服薬状況

朝昼夕：セディール

寝る前：トラゾドン、ベンザリン、ゾピクロン、ミルタザピン

頓服：ロラゼパム0.5mg、リスペリドン2mg（1週間前に1mgから2mgに増量）

〔回答〕気分がすぐれないことについては主治医にご相談ください。睡眠薬のゾピクロンは睡眠導入効果が期待される薬剤です。睡眠の途中で目が覚めてしまうことのないよう熟眠タイプの睡眠薬もありますので、こちらについてもご相談されるといいでしょう。

〔質問〕かかりつけの病院が閉院し、マリキナ配合顆粒が手に入らない。調剤薬局に電話して聞いたがどこもないという。どこで扱っているのか教えて欲しい。

〔回答〕マリキナ配合顆粒を扱っている医薬品卸に確認したところ、今は出荷調整の影響等によりお薬が不足している状況との事です。このお薬の先発品はPL顆粒、後発医薬品にはトーワチーム配合顆粒、サラザッ

ク配合顆粒、セラピナ配合顆粒等があります。薬局では風邪等で処方される事が多い薬剤なので、同一成分で商品名の異なる薬剤であれば殆どの調剤薬局でお出しできる状況と思います。予めお電話で確認してから薬局へ行かれるといいでしょう。

〔質問〕2日前に子供が発熱し抗インフルエンザ薬のタミフルドライシロップを処方された。その夜に1回飲んだところ、眼が上にいたり、痙攣が始まった。翌朝も飲ませたが、怖くてそれから飲ませていない。今日は1日平熱で元気もある。アセトアミノフェン坐薬は持っているが、どうしたらいいですか。

〔回答〕タミフルは1日2回5日間服用するお薬です。すでに中断していますので、再開されても十分な効果が出ない可能性があります。現在平熱で元気があるとの事です。そのまま様子を見て頂いて、熱が出たらアセトアミノフェン坐薬を使うようにしてください。ただし、普段と違う症状がみられましたら、受診するようにして下さい。

〔質問〕15才（45Kg）の子が今朝から39℃の熱が出ている。今日病院でインフルエンザの検査をしたかったが、検査できないので明日来ようと言われた。家にはカロナール500mgが2錠ありますが、飲ませてもいいですか。

〔回答〕インフルエンザの場合、熱の出始めは正確な検査結果が出ないことが多いので、明日の検査になったのでしょうか。通常15才以上は成人量になりますので、成人量の500mgを1錠服用し熱が下がらなければ4-6時間あけて再度服用してください。1日3回が目安となります。

〔質問〕6歳児。インフルエンザ治療薬を昨日処方されたばかり。1回目はちゃんと飲めたが、2回目の分を飲んだ直後に吐いてしまった。

〔回答〕服用直後であれば、お薬は殆ど体の中に吸収されていないと考えます。再度お薬を服用させてください。1回分減ることになりますが、治療に影響はないと考えます。

〔質問〕1週間前に眼に洗剤が入ったので水で洗ったが、念のため受診した。処方されたレボフロキサシン点眼液はいつまで使用しますか。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

〔回答〕洗剤が目に入り洗顔しているうちに、目に傷がついてしまったのかもしれませんね。現在特に眼に違和感がないのであれば終了してもよいと思いますが、念のため主治医に確認されたほうがいいでしょう。

●安全性情報●

〔質問〕5日前から体調を崩している。今日も熱が38-39℃ある。カロナール300mgが無くなったのでタイレノールを2回飲んだ。喉が渴いてきつい。頭痛、筋肉痛も続いている。検査キットで確認はしてないが、薬の副作用ですか？他に薬は飲んでいません。

〔回答〕どちらの医薬品も成分はアセトアミノフェンです。現在の症状についてはお薬の副作用の可能性は低いと考えます。症状が長引いていますので早めに発熱外来を行っている医療機関を受診された方が良いでしょう。発熱時は汗も出て体の水分が失われ脱水症になる事もあります。水分はこまめに摂るようにしましょう。

〔質問〕最近検査値のγGPTが上がっている。1年前に飲み始めたユベラNカプセルのせいですか。途中からトコフェロールニコチン酸塩100mgに替わったけど同じものですか。1日3回飲んでいる。

〔回答〕トコフェロールニコチン酸塩100mgはユベラNカプセルと同一成分の医薬品です。どちらも同じトコフェロールニコチン酸塩が成分です。肝機能の検査値が上がる等の副作用は0.1%以下の頻度で報告されています。処方医に検査値のデータを確認していただき相談するようにしてください。

〔質問〕看護師さんからインフルエンザワクチンも打った方が良いと言われたが、どの位空けた方が良いでしょう。

〔回答〕新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンとの同時接種は可能です。また、それぞれのワクチンを別の日に接種する場合の接種間隔についても制限はありません。

〔質問〕腹痛で病院を受診した。ラックビー微粒Nが処方されたが服用後から布団まで便で汚して大変だった。夜中に散々家族に怒られた。腕も力が入らない。支えられない。この薬は飲まない方が良いでしょう？

〔回答〕このお薬は腸内細菌の環境を整えて、下痢や便

秘などの症状を軽減する整腸剤です。ただ、現在の症状について副作用の可能性は否定できませんので、服用されない方が良いでしょう。下痢が続いていますので、早めの受診を勧めます。

〔質問〕歯が痛くて歯科を受診したら腫れが引いてから治療しようと言われてジスロマックをもらった。朝11時半に飲んだが、夜はお酒を飲む仕事をしている。どうしたらいいですか。

〔回答〕アルコールには血流を良くする作用があるため、患部の炎症を悪化させてしまう恐れがあります。このお薬は7日間効果が続きますので、その間の飲酒はできるだけ控えめにしましょう。

〔質問〕SPトローチ（一般名：デカリウム塩化物）を耳鼻科でもらった。カンジダ症が悪化するのではないかと。

〔回答〕SPトローチは、口やのど等口の中の細菌を殺す働きがあります。できるだけ長く口の中に含み、唾液により徐々に溶かされ患部に作用します。なお、体内に吸収されないため、カンジダ症が悪化するようなことはありません。

〔質問〕漢方薬のツムラ半夏瀉心湯、補中益気湯、六君子湯、七物降下湯を持っている。組み合わせて飲んでもいいですか。

〔回答〕漢方薬は各々7-8種類の生薬が配合されています。特に生薬のカンゾウなどは過量に飲むと重大な副作用が出ることがあるため、注意が必要です。今お持ちの漢方薬の3種類にカンゾウが含まれています。ご自分の判断で組み合わせて飲むのは危険ですので、必ず処方医に相談してください。

〔質問〕精神科のクリニックに通っている。リボトリール（クロナゼパム）1.25mgを処方されたが、不安と興奮が出てきている。頓服でオランザピンも出ているが、リボトリールを飲んだ方が良いでしょう。

〔回答〕リボトリールは、脳の興奮している状態をしずめる作用があるお薬です。また、オランザピンは、強い不安感やイライラする症状を改善して、気分を安定させる効果があります。今の症状であれば、頓服で処方されているオランザピンを服用された方が良いでしょう。ご不安やご心配がありましたら、主治医に



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

ご相談ください。

〔質問〕 主人がロスバスタチン5mgを毎朝1錠飲んでいて。今朝誤って2個飲んだみたいですが、病院も薬局も閉まっていて聞くことができません。大丈夫ですか。また、最近飲むのを忘れてしまう事があります。

〔回答〕 コレステロールの値は一時的にいつもより下がると思われますが、お薬の種類や量からみると健康を害する可能性は低いと考えます。ただ、お薬を安心して使用するためには決められた用法・用量を守ることが大切です。ご本人に注意すると、気にされる方もいらっしゃるかと思いますので、毎朝食卓に服用する分を用意しておくなどしてはどうでしょう。

●妊婦・授乳婦●

〔質問〕 妊娠25週。便秘で酸化マグネシウム330mgを1日3回飲んでいて。5日前から貧血の薬フェロミアを朝夕飲んで翌日の夜に吐き気があり、嘔吐した。飲み合わせは大丈夫ですか。

〔回答〕 フェロミアと制酸剤の酸化マグネシウムは同時服用でフェロミアの作用を弱くすることが報告されています。ただ、今回の症状はフェロミア単独の副作用が考えられます。フェロミア等の鉄剤による副作用の消化管障害は高い頻度（5%）で報告されており、その中でも内服で特に見られる症状が吐き気です。吐き気を予防するためにも、空腹時内服は避け、食後に多めの水と一緒に服用してください。それでも気分が悪いようでしたら、担当医にご相談ください。他の鉄剤に変更するか、貧血の程度によっては中止ということもあります。

〔質問〕 妊娠11週。体に痒み、ぶつぶつが出ている。皮膚科から蕁麻疹にとフェキソフェナジンをもらったが、頭痛、痒みも治まらない。3日経つがどうすればいいですか。

〔回答〕 妊娠すると腹部やお尻、胸などが大きくなることで肌が引き延ばされて乾燥状態になり痒みが出る可能性があります。痒みが強いと不眠につながる可能性も出てきます。早めに産婦人科の医師に相談された方が良いでしょう。

〔質問〕 妊娠19週目。コロナにかかり鼻水がひどいで、前にもらったツムラの小青竜湯を飲んでもいいで

すか。

〔回答〕 小青竜湯の成分である麻黄にはエフェドリンが含まれています。エフェドリンには心臓刺激作用等があるため、胎児の心拍数が上がる可能性があります。これまで小青竜湯により胎児へ影響があったという報告はありませんが、胎児へ血液移行することがわかっていますので注意が必要です。必ず担当医からの指示を仰いでください。なお、妊娠中であっても必要時には短期間処方されることはあります。不安があれば主治医にご相談ください。

●高度管理医療器など継続研修関連●

〔質問〕 高度管理医療機器の取扱いをやめるが、許可証には5年後の日付けが記載されている、届け出とか必要ですか。（薬局）

〔回答〕 管轄の保健所に廃止届を提出してください。その際以下の書類が必要となります。なお、届け出をする前に保健所に確認されることを勧めます。

- ①廃止届
- ②許可証の原本

●その他の質問●

〔質問〕 コロナのPCR検査をしたいが、どこでやっているのか。

〔回答〕 県の補助事業の無料PCR検査は全て終了しています。現在、一部の薬局においては有料でPCR検査を行っています。また、発熱外来をやっている医療機関においてもPCR検査や抗原検査を実施しています。ただ、抗原検査の方が迅速に判定できるため、多くの医療機関では抗原検査の方を使用しているかと思います。PCR検査の実施状況については、各医療機関にお問い合わせください。

〔質問〕 病院への苦情申し立てはどこにすればいいですか。

〔回答〕 まずは、受診先の医療機関等の窓口にご相談ください。医療機関によっては、中立でお話を聞ける患者相談窓口があります。それでもわからなかった、また相談の仕方がわからない等お困りでしたら沖縄県医療安全相談センターへご相談ください。（TEL：098-866-1260：平日のみ）

〔質問〕 薬剤性ジストニアの症状があり、寝たきりに



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

なっている。A病院ではもう何もやることはない、その他の病気が隠れているかもしれないと、B病院を紹介されたが、そこでももう他にやることはないと言われた。薬剤師さんだから死ぬ方法を教えてください。（3度のご相談）

〔回答〕「沖縄いのちの電話」をご紹介します

TEL：098-888-4343（毎日午前10時～午後11時、年中無休）

〔質問〕栄養に詳しい知人からシリカ水を勧められた。どんなものか教えて欲しい。

〔回答〕シリカ水とは、「シリカ（ケイ素Si）」というミネラルが溶け込んだ水のことです。ケイ素は人の体内の微量ミネラルで水道水や食品にも含まれていますが、現在ケイ素を多く含む飲料水などの商品が健康や美容に良いと謳われて販売されています。シリカやケイ素の摂取量は通常の食事からの摂取で不足することはないと考えられており、多く摂取する事の有効性については明確な情報は見当たりません。

参考：国民生活センター「シリカやケイ素を摂取できるとうたった飲料、健康食品等に関する調査-ケイ素の摂取は美容や健康に良い？-」について

〔その他ご意見・ご相談〕

- ・エチゾラム0.5でも0.25でも眠れる。問題ないですよ。ね。飲まなくても眠れる時もあるが、これで認知症になったわけではないですよ。
- ・65歳の母が不安症と診断されて、薬を飲んだらだるくて動けなくなった。このまま治らないんですか。薬は一生飲み続けるんですか。
- ・家族の薬だけど、デュロキセチン20を30にかえたら、便秘、口渇などの副作用が出てきた。医師は症状は副作用ではないと言い張って、薬を飲むことの恐怖感からきていると言う。抗精神病薬にかえようかとも言われた。抗精神病薬を飲ませようとしている。PMDAにもメーカーにも電話したが、自分のいう事が当たっている。
- ・子供の処方せんを持っていったら「メンタルに問題があるんですか？」と言われた。何か根拠があって言っているのか。
- ・漢方コーディネーターとはどのような位置づけでしょうか。
- ・お薬手帳を薬局が在庫がないともらえなかったとい

うが、どこでもらえますか。

- ・薬局の対応が悪かったので薬剤師の名前を確認しようと思ったら、薬袋に名前がない。これでいいのか？処方医の名前はあるのに、薬を出した薬剤師の名前がないというのはおかしいのではないかと？態度も悪いし、こんな事やっている薬局はダメだと思う。責任を持つなら名前を入れるべきではないのか？
- ・薬局が「いつもありがとうございます」と言う。おかしいのではないかと？「お大事にしてください」と言うべき。誰も体調を崩して薬は飲みたくないのに、「いつもありがとうございます」なんて。いい加減にしてほしい。
- ・打ち身には何の薬を使ったらいいですか。

●医療機関から●

〔質問〕ゾコーバは12歳以上に処方できるが、子供医療で無料になりますか。（薬局）

〔回答〕子供医療費助成制度は、現在国で統一された制度ではなく、市町村ごとに対象年齢等が定められています。患者様の居住地の当制度の対象年齢であり、かつ保険適用対象であれば、子供医療費助成の対象となります。処方を受けた本人がその証書をお持ちであれば対象となります。

〔質問〕幼児のアデノウイルス感染症の出席停止期間について。熱が出た場合に解熱後登園は何日後なのか。1日後だったり2日後だったり情報があいまいなので教えて欲しい。（薬局）

〔回答〕咽頭結膜熱（プール熱）は第二種の感染症に指定されています。学校保健安全法施行規則および「2018年改訂版保育所における感染症対策ガイドライン」（厚生労働省）の中で、主要症状が消退した後2日を経過するまでを出席停止期間として定めています。

参考：上記ガイドラインより

（出席停止の期間の基準）第十九条令第六条第二項の出席停止の期間の基準は、前条の感染症の種類に従い、次のとおりとする。

咽頭結膜熱にあつては、主要症状が消退した後2日を経過するまで。

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇ medicina 61 巻 1 号
 - * その知見は臨床を変える？ エキスパートが解説！
内科における最新論文
- ◇ エキスパートナース 40 巻 1 月号
 - * 看護の“今、こうしている”がわかる看護の最新
トレンド2024／何がダメ？どう直す？どう指導す
る？看護記録の“NG”
- ◇ エキスパートナース 40 巻 2 月号
 - * 写真でわかる！正解ポジショニング [基礎編] [実
践編] [応用編]／知っておきたい不妊治療のいま
- ◇ きょうの健康 1 月号
 - * 腰・背中の悩み、排泄の悩み
- ◇ きょうの健康 2 月号
 - * 高齢者・女性・子どもの糖尿病
- ◇ 月刊薬事 66 巻 1 号
 - * 評価スケールの読み方、活かし方
- ◇ 月刊薬事 66 巻 3 号
 - * 血中濃度の変動要因を見極めよう 悩ましい薬物動態
の諸問題
- ◇ 産科と婦人科 91 巻 1 号
 - * 産婦人科診療ガイドライン婦人科外来編 2023 改訂
のポイント - 感染症・女性医学編 -
- ◇ 産科と婦人科 91 巻 2 号
 - * 産婦人科診療ガイドライン婦人科産科編 2023 改訂
のポイント
- ◇ 総合診療 34 巻 1 号
 - * “体験型”臨床クイズで習得する！ フィジカル診
断エクセレンス
- ◇ 総合診療 34 巻 2 号
 - * 日常診療で出会う筋骨格疾患 脳神経内科と整形外
科からのアプローチ
- ◇ 調剤と情報 30 巻 1 号
 - * 説得力満点の服薬指導に！製剤学で疑問を“粉碎”
- ◇ 調剤と情報 30 巻 2 号
 - * 薬局のための 外国人患者対応のポイントとコツ
- ◇ 治療 106 巻 1 号
 - * 血液培養&グラム染色に恋せよ
- ◇ 治療 106 巻 2 号
 - * ロスジェネを診よう

- ◇ 日経ドラッグインフォメーション 314 号
 - * 検証！気になる副作用 5 選
- ◇ 日経ドラッグインフォメーション 315 号
 - * 薬局・病院 1600 人大調査 薬剤師とスキルアップ
- ◇ 日本医事新報 5198 号
 - * フレームワークを活かした腹部 POCUS- プライマリ・
ケア診療に定着させる考え方
- ◇ 日本医事新報 5199 号
 - * 心エコー検査で読み解く心不全のストーリー
- ◇ 日本医事新報 5200 号
 - * 救急・当直で診る薬疹
- ◇ 日本医事新報 5201 号
 - * 脳神経内科外来で出会う「肩こり」- コモンな第 4
の神経症状
- ◇ 日本医事新報 5204 号
 - * 専門医へつなぐ食物アレルギー診療
- ◇ 日本医事新報 5205 号
 - * 頻尿の鑑別診断・フォローアップ手順ガイド
- ◇ 薬局 75 巻 1 号
 - * 基礎薬学とエビデンスからおくすり比べてみました
- ◇ 薬局 75 巻 2 号
 - * 子どものためのステロイド外用剤のレシピ

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶ 慢性咳嗽に対する新薬の使いこなし方
Medicina61 (1) p.37
- ▶ 梅毒をリプライズ - あたらしい「治療」と「予防」
Medicina61 (1) p.64
- ▶ 肥満症に対する薬物療法の最新知見 - 新薬登場によ
る治療法の変化
Medicina61 (1) p.88
- ▶ 片頭痛のマネジメント - 新薬登場による治療法の変化
Medicina61 (1) p.152
- ▶ 認知機能低下に追加された糖尿病治療薬
日経ドラッグインフォメーション (315) p. PE043
- ▶ 小児の喘息にステロイドは効果がありますか？
ランドマークスタディと路地裏エビデンス、臨床で
の使い方
治療 106 (2) p.128,p.220

■新薬■

- ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [39]
コレチメント®錠 9mg (ブデソニド)
月刊薬事 66 (1) p.130
- ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [40]
リットフーロ®カプセル 50mg (リトレシチニプトシル酸塩)
月刊薬事 66 (3) p.130
- ▶鉄欠乏性貧血の治療を再考する ～高用量静注鉄剤の登場～
新薬と臨牀 73 (1) p.19

■安全性情報■

- ▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・OTC かぜ薬の長期服用による間質性肺疾患
・ループ利尿薬中止後のカリウム補給薬の漫然処方
薬局 75 (1) p.104
 - ▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・BZ 薬は漸減しても離脱症候群を生じる
・睡眠薬の中止に対する医師と患者の認識のズレ
薬局 75 (2) p.132
 - ▶不整脈の副作用を考慮すべき脂質異常症治療薬
日経ドラッグ インフォメーション (314) p.PE041
 - ▶ビスホスホネート製剤×顎骨壊死 抜歯時の休薬が原則必要なくなったのはなぜ？
日経ドラッグ インフォメーション (314) p.PE012
 - ▶論文で読み解くくすりのリスク～GLP-1 受容体作動薬と消化器系有害事象との関連は
日経ドラッグ インフォメーション (314) p.PE38
 - ▶論文で読み解くくすりのリスク～セフトリアキソンとランソプラゾールの併用と心停止の関連性は？
日経ドラッグ インフォメーション (315) p.PE022
 - ▶クエストラント同時服用が不適な薬剤
日経ドラッグ インフォメーション (315) p.PE041
 - ▶薬剤性ミオパチー (薬剤性筋障害)
日本医事新報 (5198) p.42
 - ▶耐性菌を増やさないための抗菌薬適正使用の知識—高齢者施設での抗菌薬適正使用
調剤と情報 30 (2) p.59
- ## ■薬剤師業務■
- ▶数字でみるステロイド外用剤 - 薬剤選択・情報提供の裏付けとなる薬学的データ
皮膚外用剤 - 適正使用と患者説明
薬局 75 (2) p.31
 - ▶ステロイド外用剤の適切な継続期間の設定・判断は？やめ方は？

薬局 75 (2) p.96

- ▶ステロイド外用剤の子どもに対するネガティブ情報との付き合い方① 成長障害への不安のスキマを埋める
薬局 75 (2) p.39
- ▶外国人患者の現状と薬剤師の対応実態
調剤と情報 30 (2) p.8
- ▶外国人患者とのコミュニケーションツール
調剤と情報 30 (2) p.20
- ▶症状別！ 迷子にならない OTC セルフケアマップ
風邪に対する漢方薬の選び方—初期編
調剤と情報 30 (2) p.52

■漢方療法■

- ▶ぐっとよくなる！ 漢方処方快訣ピフォーアフター〈第1回〉かぜ症状に対する漢方の使い分け
かぜには葛根湯，…のみにあらず
薬局 75 (1) p.97
- ▶芍薬甘草湯がこむら返りに早く効く理由とは
日経ドラッグ インフォメーション (314) p.035

■その他■

- ▶抗菌薬の散剤には、なぜジュースと混ぜてはいけないものがあるの？
調剤と情報 30 (1) p.8
- ▶未開封・開封後の点眼剤はどれくらいの期間使用できるの？
調剤と情報 30 (1) p.35
- ▶冷蔵庫で保管する点眼薬は常温で持ち歩いてよいのか？
調剤と情報 30 (1) p.45
- ▶一度融けた坐剤は、固まれば使っていいの？
調剤と情報 30 (1) p.66
- ▶ほうりつのおとしあな 法律違反事例から学ぶ おじさん薬剤師の憂鬱 処方箋医薬品を販売したら行政処分を受けてしまいました
調剤と情報 30 (1) p.111
- ▶ほうりつのおとしあな 法律違反事例から学ぶ おじさん薬剤師の憂鬱 処零售の根拠が説明できず患者さんに怒られてしまいました
調剤と情報 30 (2) p.85
- ▶壮年期のメンタルヘルス
治療 106 (2) p.186
- ▶基礎研究の結果と臨床研究の結果に違いはありますか？
薬局 75 (1) p.6, p.106
- ▶薬物動態に影響を及ぼす要因は臨床でどこまで考慮すべきか
月刊薬事 66 (3) p.17

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】今日の治療薬 2024

【発行】南江堂 【発行日】2024年1月発行

【版型/頁】B6判/1,440頁 【定価】5,280円(税込) 【幹旋価格】4,750円(税込)

臨床で使われる医薬品を薬効群ごとに解説と便覧で構成したベストセラー。手に取って調べるのにちょうどよいサイズながら、医薬品の最新情報はぎゅっしり。2024年版では、同種・同効薬の使い分けの手がかりとなる「同種薬比較」を新設。オーソライズド・ジェネリック(AG)の情報も充実。

★【日薬幹旋図書】治療薬マニュアル 2024

【監修】矢崎 義雄 【発行】医学書院 【発行日】2024年1月

【版型/頁】B6判/2,800頁 【定価】5,610円(税込) 【幹旋価格】5,200円(税込)

添付文書情報を整理した「薬剤便覧」に、専門医の「臨床解説(適応外使用など)」を加えた全医療者必携の治療薬年鑑。後発医薬品や2023年収載の新薬を含む、ほぼ全ての医療用医薬品を収録。公式サイトでの新薬情報の掲載、Web電子版での薬価改定対応など、書籍発行後の情報提供も充実。PC・スマホ・タブレットで利用できる『Web電子版』付き。

★【日薬幹旋図書】Pocket Drugs 2024

【監修】福井 次矢 【発行】医学書院 【発行日】2024年1月

【版型/頁】A6判/1,248頁 【定価】4,840円(税込) 【幹旋価格】4,490円(税込)

治療薬を薬効ごとに分類し、冒頭に「臨床解説」を掲載。各薬剤情報では、すぐに役立つ「選び方・使い方」、薬剤選択・使用時の「エビデンス」をコンパクトにまとめた。ブルカラーで欲しい情報がすぐに探せ、主要な薬剤は写真も掲載。臨床現場で本当に必要な情報だけをまとめたポケット版医薬品集。

薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト

改訂モデル・コアカリキュラム対応

【編著】(一社)薬学教育協議会 【発行】じほう 【発行日】2024年1月

【版型/頁】A4判/352頁 【定価】4,730円(税込) 【会員価格】4,290円

2019年版より改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに対応。第1章、2章、4章、5章では、到達目標(SBOs)、使用教材、学習事例のほか、実務実習中における重要な項目について。第3章(薬物療法の実践)では、薬物治療への関わりを一連の流れとして捉えるために、薬局・病院別に代表的な8疾患の症例に沿って、患者情報の把握から処方設計と提案、薬物治療における効果と副作用の評価までの重要なポイントを解説。また、症例ごとに設定された課題は知識の整理・定着に役立つ(解答例はダウンロード形式)。今版では、図表、医薬品、症例のアップデートを中心に、最新の情報となるよう見直しをした。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

今日の治療指針 2024 年版 [デスク版]

【総編集】福井 次矢、高木 誠、小室 一成 【発行】医学書院 【発行日】2024 年 1 月

【版型/頁】B5 判/2, 224 頁 【定価】22, 000 円 (税込)

1959 年の初版から長きにわたり臨床現場で使われてきた信頼と実績の最新治療年鑑。第 66 巻となる今版では見出し「帰してはいけない患者」を新たに追加したほか、診断に関する記載やエビデンス情報も充実。薬剤師による「服薬指導・薬剤情報」や各種付録など便利な情報も満載。マルチデバイスで閲覧可能な電子版付。

ポケット医薬品集 2024 年版

【監修】龍原 徹 【発行】南山堂 【発行日】2024 年 1 月

【版型/頁】B6 変型判/1, 507 頁 【定価】5, 500 円 (税込)

添付文書の情報にとどまらず、薬の作用メカニズムや、薬剤選択・薬物療法管理に必須となる最新の医薬品情報を掲載。2023 年 9 月までの新薬・後発品の情報をアップデート。日常診療、薬剤業務で手元に置いておきたい定番の医薬品集。

ポケット英和医学用語・略語辞典 第 26 版

【編集】「ポケット英和医学用語・略語辞典」編集委員会 【発行】南山堂

【発行日】2024 年 1 月 【版型/頁】A6 変型判/324 頁 【定価】1, 320 円 (税込)

医療現場から生まれたポケットサイズの辞典。

カルテ・検査依頼書・報告書など日常業務で頻用される用語(英和編約 5, 700 語、略語編約 3, 400 語)を収載。付録の図表も充実。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 Q&A

【編著】中山 希、八百野 恭子 【発行】じほう 【発行日】2023 年 12 月

【版型/頁】A5 判/172 頁 【定価】5, 280 円 (税込)

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日改正)は、治験以外の臨床研究、観察研究、ヒト試料を用いた基礎研究などを行う際に遵守を求める指針。近年の個人情報保護法の改正に伴い、倫理指針においても用語の定義やインフォームド・コンセントの手続き等が改正され、より複雑な内容となっている。倫理指針の対象となる研究は幅広く、多くの研究者及び研究支援者等が利用していることをふまえ、少しでも「倫理指針は難しい」というイメージを軽減したいという著者の思いから、倫理指針を理解するために個人情報保護法との関係性も含め、表や図を用いてわかりやすく Q&A 形式で解説。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 公認スポーツファーマシスト認証制度について * *

(公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構)

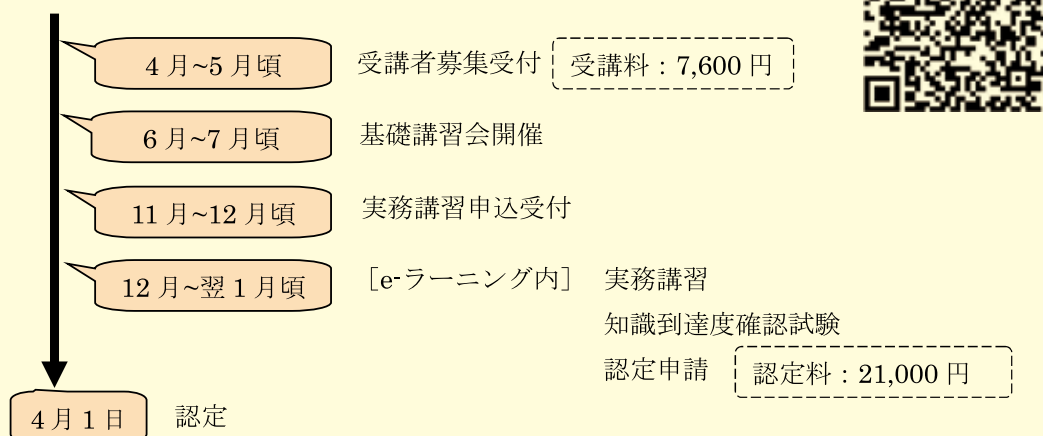
<https://www.sp.playtruejapan.org/about/index.html>

公認スポーツファーマシストは、最新のアンチ・ドーピング規則に関する知識を有する薬剤師です。(公財)日本アンチ・ドーピング機構が定める所定の過程(アンチ・ドーピングに関する内容)終了後に認定される資格制度です。

○公認スポーツファーマシストの活動例

- ・国民体育大会に向けての都道府県選手団への情報提供・啓発活動等
- ・学校教育の現場におけるアンチ・ドーピング情報を介した医薬品の使用に関する情報提供・啓発活動等

○認定までの流れとスケジュール



◎2024年度の募集は、2024年3月上旬に告知の予定です。

試験検査センターからのお知らせ

○計画的試験を実施しています

令和5年度 計画的試験は以下の項目で実施します。

- ① d1- エフェドリン塩酸塩の定量試験 ② 漢方薬の細菌試験

試験検査センター利用契約を結んでいただいている薬局へ1月に封書にて、検体提出などについてご案内しました。検査終了後、成績書をお送りしますので、管理日誌に記載お願いいたします。

○日薬 試験検査センター連絡協議会・技術研修会（富山県）へ参加しました

令和5年12月14日は協議会・研修会、15日は富山県に在るダイト株式会社へ施設見学がありました。ダイト株式会社は原薬事業と製薬事業を同時に行っている国内では数少ない企業です。医薬品供給不足の問題に関し、同社では原薬生産の増産体制を整え、品質管理体制の拡充を行っています。年間計画や品質検査に対応する能力にも限界があり、供給問題の早急な解決は難しい状況ということです。

○ダニアレルゲン検査について

薬局等でこども用のベッド、マット、畳間などやぬいぐるみなどの布製品についてダニアレルゲン検査を実施しませんか？

当センターでは学校環境衛生基準に基づいたダニアレルゲン検査を実施しています。

患者様に安心を提供するため薬局での衛生管理に活用してみてもはいかがでしょうか。

👉 検査料：1検体で3,520円（税込み）、2検体で5,940円（税込み）

ダニアレルゲン検査についてのお問合せは、試験検査センターまでご連絡下さい。

電話：098-963-8934

Mail：siken@okiyaku.or.jp



利用契約推進中！

①利用契約をすると

- ・調剤過誤が疑われた場合の処方薬の検査が無料
- ・日薬の医薬品計画的試験を無料で実施
- ・ダニアレルゲン検査を実費のみで実施！（1,100円 税込み）
- ・その他検査に係ることについて電話相談対応

※詳細は、試験検査センターへ（電話：098-963-8934 Mail：siken@okiyaku.or.jp）



②利用契約料は

- ①代表者が県薬会員、または賛助会員の場合

契約料 1万円/年

※新規申込の際は、初年度のみ登録料として1万円

- ②代表者が非会員の場合

契約料 15万円/年

※新規申込の際は、初年度のみ登録料として10万円

※利用契約がない場合、検査1件あたり5万円程度の検査手数料をいただきます。

第63回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会
狩俣 イソ



新聞で「女性の健康に活躍のハーブ：シャタバリ」を読みました。シャタバリは5千年の歴史のあるインドのアーユルヴェーダの薬草ですが、日本では唯一石垣で栽培されていると知り、調べてみました。

シャタバリ：アスパラガス・ラケモスス

学名 *Asparagus racemosus*

英名 Shatavari

和名 野生アスパラガス

科名 キジカクシ科・ユリ科 Asparagaceae

属名 クサスギカズラ属 *Asparagus*

使用部位 根茎

成分 シャタバロシンドA(1)、B(2)、イヌリン
イソフラボン、フィリアスバロシンドC



【シャタバリshatavariの名称・利用】

アスパラガスの仲間、根の一部が肥大し芋のようになり、薬効を持つ物もある。アスパラガス・ラケモススの肥大根も薬用になる。インドではシャタバリと呼ばれ、アーユルヴェーダによれば、女性の健康増進と生殖能力を高めるために使用されてきた。また循環器、呼吸器、消化器系などの様々な疾患に利用されている。

【シャタバリの分布・生育地】

中国南部から西はインド、パキスタンを通りアフリカまで、南はマレーシアからオーストラリアと広い地域に野生生育する。破壊的な収穫と生息地の破壊、森林伐採により、現在、自然の生息地では絶滅の危機に瀕している。

【シャタバリの形態・生態】

根系を有する多年草または蔓性常緑樹、野菜のアスパラガスと同じ属で、芽が出た時はグリーンアスパラガスのような形をしている。細かな線状の葉が多数付いているように見えるが、これ

は茎が細かく枝分かれしたもので、葉状枝、あるいは偽葉、仮葉などという。本当の葉は鱗片状に退化し、茎に張り付くようになっている。伸びていくと1～2mの長さになる。葉状枝の側に鋭い刺があり、蔓状になって周囲に巻き付き、イバラのように外敵から身を守る。

花は種形容語の *racemosus* の通り、総状花序 (*raceme*) で、花の直径は1cmと小型、咲き始めは白から淡い黄色で、咲き終わりには淡い桃色になる。逆に、葯や(雄蕊の先にあって中に花粉を生じる囊状の部分)は、開く前は紫色で、開くと黄色い花粉に包まれる。花は、葉状枝がほとんど落ちた乾季から雨季の境目に咲くので、花ばかりがよく目立つ。花後にできる果実は直径4mmくらいの赤色で、1～2個の黒い種子を含む。

アスパラガスの仲間は、根の一部が肥大し芋のようになる。アスパラガス・ラケモススは肥大根を持つ。根の収穫は2年後から可能。

【シャタバリの薬用】

シャタバリは血液と生殖系系の浄化作用があり、植物由来エストロゲンを豊富に含んでいる。摂取することで女性ホルモンのエストロゲンと同様の効果をもたらすとされている。

出産後の子宮の正常な退縮を助ける。授乳期に使用するのに理想的なハーブである。母乳の生産を改善するだけでなく、母乳の栄養価を高めると言われている。インドでは市場に出回っているほぼすべてのハーブ授乳促進薬には、主たる成分としてシャタバリが含まれている。が、一方で血清プロラクチン濃度、乳児の体重増加量、母乳量には影響は認められなかったとの報告もある。

生理不順の改善、更年期症状の火照りなどの軽減、その他、抗酸化作用、抗炎症作用、消化不良・胸やけを鎮める、腸の蠕動運動の活性化、咳を和らげる、利尿作用、駆虫能などが知られている。

男性がシャタバリを服用した場合は、滋養強

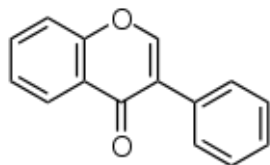
壮や性欲増強作用があるとされている。これはシャタバリに含まれるステロイドサポニンによるもので、ステロイドサポニンには男性ホルモンであるテストステロン値を一定に保つ働きがある。テストステロンは強壮効果だけでなく、筋肉を増強したり性欲を上昇させたりする作用も持つホルモンである。

シャタバリの芽には苦味があり、媚薬効果があると言われている。

【シャタバリの有効成分】

シャタバリは体内のエストロゲンの働きをサポートするイソフラボンを豊富に含み、エストロゲンの減少に由来する更年期障害やPMS（月経前症候群）などの不調を整える。またシャタバロシドやシャタバリンなど、植物性のステロイドサポニンと呼ばれる物質が豊富に含まれている。ステロイドサポニンは女性ホルモンの前駆物質でもあり、体内で女性ホルモン分泌の補助的な役割を果たす。その他フラボン、ケルセチン、ルチン、ケンフェロール、オリゴサッカリド、イヌリン、レクチン、葉酸を含む。

【イソフラボン】



イソフラボンは、フラボノイドの1種である。3-フェニルクロモンを指し、広義にはイソフラボン類に属する誘導体をイソフラボンと称する。狭義のイソフラボンは生物では検出されない。生物ではフラバノンの異性化反応によって 5,7,3'-トリヒドロキシフラボンが作られ、多くは配糖体として蓄えられる。

エストロゲン様の活性あるいは阻害の両方が見られ、乳がんや骨粗しょう症では保護的であることを示した報告が存在する。研究報告には、通常の食事の範囲において予防的な結果が示されていることが多い。

がんリスクの抑制：乳がんリスクのわずかな減少、胃腸がんでも同様にわずか、前立腺がん、卵巣がんではリスク低下、結腸直腸がん、結腸直腸がんのリスクも同様の結果で用量反応関係が見られた。疫学研究においてヒトにおけるエクオール産生能の有無と前立腺がん、乳がん、更年期障害の予防や改善効果との関連が報告されている。肺がんのリスクを低下させたメタアナリシスは大豆食品との関係である。厚生労働省研究班

による大規模なコホート研究では、食品からのイソフラボンの摂取量が多いほど日本人女性の乳がんや脳梗塞と心筋梗塞、男性の一部の前立腺がんのリスクが低下するという相関関係が見られた。国立がん研究センターによるコホート研究によると、非喫煙者の男性でのみ、イソフラボンの摂取量が多いと、肺がんの発症リスクが有意に低いと報告されている。

骨粗しょう症：尿中に検出されるイソフラボンの多い人ほど骨密度が高いことが指摘されている。

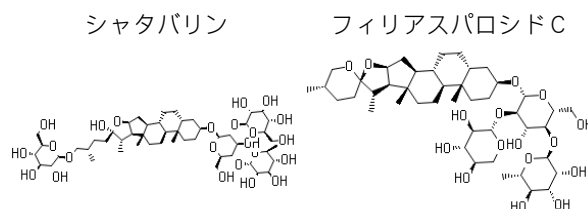
腸内にエクオール産生菌を持たない人の場合、エストロゲン作用は期待できないと考えられている。エクオールはイソフラボンの一種であるダイゼインから腸内細菌によって産生される。

【ステロイドサポニン】

サポニンは、水溶液を振ると石けんのように持続性の泡を生ずる化合物群に付けられた名称である。サポニンは配糖体であり、加水分解するとサポゲニン（非糖部）と糖を生じる。溶血作用、血球凝集作用、抗菌、抗カビ作用があり、魚などに対して毒作用（魚毒）がある。サポニンは構造からステロイドサポニンとトリテルペノイドサポニンとに大別される。薬理研究により、ステロイドサポニンは**血糖の調節、心脳血管病の予防と治療、抗がん、学習記憶の改善**などの多種の薬理活性を持つことが示された。

サポニン含量の高い植物は去痰薬、鎮咳薬として使われてきた。麦門冬から抽出したステロイドサポニンであるオフィオポゴニンとメチルオフィオポゴナノンA,Bは、気管支炎動物において強い末梢性鎮咳作用を示すことが確認された。

アスパラガス・ラケモスの根から活性成分ステロイドサポニンである、シャタバリン、シャタバロシド、フィリアスパロシドCなどが単離された。



参考 熊本大学・星薬科大学の共同研究、医薬.net J-GLOBAL E-厚生労働省科学研究成果DB、LeSen、山科植物資料館、GKZ植物事典、SANUS q 健康食品の素材情報DB:PMID17240097 臨床植物科学2021年、Academic Accelerator、医薬食品局



地元宮崎の食について



会営薬局うえはら
白坂 亮

本号においてリレー随筆のバトンを受けました会営薬局うえはらの白坂と申します。

薬剤師会の職員になってまだ間もない新人ですがしっかり次にバトンを繋げるよう頑張りたいと思います。そんなわたくしのお話させていただく内容は地元宮崎についてです。

前宮崎県知事の東国原英夫氏が「どげんかせんといかん」と声をあげるほどPRできるものが無く、時折陸の孤島と揶揄されるほど何もない県でしたがそんな故郷である宮崎にも今やPRできるものが数多くあります。その一つが「食」についてです。食についてのご紹介を分かりやすく進めるために食事に置き換えて前菜、メイン、デザートで順で特産品をご紹介します。まずは前菜となる野菜についてですが、全国シェアで宮崎県が最も多く生産を行っている野菜がきゅうりです。きゅうりは郷土料理である冷や汁などにも多く使用されている野菜であり夏バテにも効果があると言われています。

その他にもピーマン（2位）、さといも（3位）などがあり、沖縄でよく食べられるゴーヤも実は全国2位の生産量を誇る野菜になります。

続いてメインに移ります。ご存じの方も多いかもしれませんが宮崎牛は度々日本一に輝いたことがあるブランド牛です。その実績としては全国和牛能力共進会の大会において最高賞となる内閣総理大臣賞を4度受賞しており、また全国のブランド牛の日本一を決める大会で3度優勝を飾っています。比較的さしの多い肉質であるため食べ過ぎると胃に負担がかかりますが、上質な肉をたまに食べたいという時にはおすすめの和牛です。那覇市内に宮崎牛専門のお店がオープンしたようですのでご興味があれば是非試してみてもいいかもしれません。

牛の次は鳥です。宮崎には地頭鶏（じとっこ）というブランドの鶏がいます。炭火で焼いて食べると非常に軟らかくお酒に合ううまい鳥です。また地頭鶏ではありませんが鳥が

使われている名物料理としてチキン南蛮もあります。こちらの方が有名なのでご存じの方も多いと思います。

そして最後はデザートです。宮崎で有名なフルーツといえば沖縄でも馴染み深いマンゴー、そして日向夏というみかんです。マンゴーは「太陽のタマゴ」というブランドのものがあり、宮崎で栽培されるマンゴーの中でも特に品質に優れたものだけに付けられるブランドです。基準は糖度15度以上、重さ350g以上であることに加え見た目の良さが条件となるそうです。この基準を超えるものは全体の15%ほどと言われており、そのため値段も高額に設定されています。

もう一つのデザートである日向夏は1800年代に偶然宮崎市の民家で自生しているのが発見されたことが起源と言われています。黄色い果肉部分は酸味がありほどよい酸っぱさがあるため果実の表皮にあたる白い部分を一緒に食べることで酸味を和らげてくれます。私の実家では砂糖をまぶして食べることが食べ方として定着しておりました。日向夏は宮崎以外の他県でも現在は栽培されており「小夏」、「土佐小夏」、「ニューサマーオレンジ」などの名称で売られているとのこと。

さて、ここまで「食」について紹介してきましたが、宮崎には食以外にも神話の里高千穂や日南海岸にある鬼の洗濯岩など観光スポットも幾つかあるため機会があれば訪れてみてはいかがでしょうか。駆け足でご紹介しましたが、正直宮崎県の良さは行ってみないと分からない部分が多いというのが私の本音です。もし今回のリレー随筆にて興味を持たれた方がいればお声かけください。行った際の楽しみ方を詳しくご紹介いたします。最後までご拝読いただきありがとうございます。

次号には、株式会社琉薬の竹内 聡 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

学術研修

「ICT研修プログラム」コンテンツ公開について

FAX一斉同報でもご案内しておりますが、ICTを活用した薬剤師業務の資質向上等を目的とし、日本薬剤師会が作成した「ICT研修プログラム」を、日本薬剤師会研修プラットフォームにて公開しております。

近年、薬剤師を取り巻くICT環境は急速に進展しており、社会的な要請も踏まえ、適切にシステム導入や薬剤師業務への活用を図っていくことが求められています。

今回公開するコンテンツは下記の期間中、いつでも受講できるようになっていますので、多くの会員の皆様にご活用いただければと思います。なお、受講は無料になっております。

記

1 「ICT 研修プログラム」コンテンツ内容

- 【総論1】 薬剤師を取り巻く今後の ICT 化について
- 【総論2】 医療情報システムの安全管理について（前編・後編）
- 【各論1】 オンライン服薬指導について（前半・後半）
- 【各論2】 オンライン資格確認について
- 【各論3】 電子処方箋について（システムの側面）（薬局業務からの取扱い）
- 【各論4】 電子版お薬手帳について
- 【各論5】 医療 ICT 化に対応していく薬局業務

2 申込受付および受講期間

2023 年 12 月 27 日～2024 年 3 月 31 日

（お申し込み後、上記期間中、いつでも受講いただけます）

3 受講方法

日本薬剤師会研修プラットフォームにログイン

→「研修を探す」から「沖縄県 ICT 研修プログラム（日薬作成）」を検索

→「研修を申し込む」から必要事項を入力しお申し込みいただくと、「レッスンを受講する」から受講できるようになります。

※受講には、日本薬剤師会研修プラットフォームへの登録が必要です。

未登録の方は下記よりご登録ください。

→
プラットフォーム登録



●日本薬剤師会研修プラットフォーム登録

県薬HP→（下へスクロール）動くポスターの中にある「日本薬剤師会研修プラットフォーム」

4 受講料：会員・非会員ともに無料

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➤ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

➤ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

➤ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承ください。

電 話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➤ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

日薬通達

公式キャラクター募集要項

「薬に関する専門家集団」である日本薬剤師会をより身近な存在として感じられる、親しみのある公式キャラクター（以下、キャラクター）を募集します。キャラクターは、メディア等を含め、さまざまな広報資料として活用させて頂く予定です。

1.募集内容

・募集作品

広報活動・メディアに登場するキャラクターを募集します。明るく、親しみを感じるキャラクターを作成し、その名称・制作意図と共に応募してください。特にオリジナリティのある作品をお待ちしています。

・応募資格

プロ、アマを問いません。日本薬剤師会の会員でなくても応募可能です。

・応募条件

お一人で何点でも応募できますが、応募1回につき1点とします。

色彩は自由ですが、白黒で使用する場合も考慮して制作してください。

公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むもの、著作権その他第三者の権利を侵害しているものは審査の対象外になります。

また、採用決定後であっても、これらの条件に違反していたことが判明した場合、採用は無効となります。

・応募方法

※**入力フォームよりご応募ください**（<https://forms.gle/GkSSXMPoyNBLA6za9>）

作品はグラフィックソフトにて作成したデジタルデータかつ、容量は1ファイル10MB以内、形式はjpg形式に限ります。手書き作品をスキャンしたものや写真での応募はできません。後日、編集が可能なデータ形式でのファイルの送付をお願いすることがあります。

なお、上記フォームからの応募に不具合があった場合や、google アカウントをお持ちでない方は、jpg データをメールに添付の上、下記アドレスからの応募も可能です。郵送での応募は受け付けておりません。

character2024 (a) nichiyaku.or.jp

※ (a) はアットマークに読み替えてください。

・募集期間

令和6年2月1日（木）から5月31日（金）17時まで

2. 審査及び発表

厳正な審査により最優秀作品 1 点（採用作品）を選考します。ご応募頂いたデザインは、選考委員会の判断により必要に応じて修正・変更した上で選考し、その修正・変更された作品を応募作品とさせていただきます。

審査結果は、令和6年8月を目途に採用者本人に直接通知します。併せて、令和6年9月末を目途に日本薬剤師会ホームページ上で発表いたします。

採用者以外の方にはご連絡いたしませんので、ご了承ください。

審査の経過及び結果に関するお問い合わせにはお答えできません。

※万が一、採用者ご本人に連絡がつかない場合は無効になる場合もございます。

3. 表彰等

採用者には賞金として 30 万円を贈呈いたします。

（ただし、採用者が未成年者の場合、賞金受領に関して保護者の同意が必要です）。

4. 著作権について

採用作品の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む）、商標権、その他一切の権利は、日本薬剤師会に帰属します。また、採用作品について、日本薬剤師会ならびに日本薬剤師会より正当に権利を取得した第三者及び当該第三者から正当に権利を取得した者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。

採用作品のデザインは、選考委員会の判断により必要に応じて修正・変更する場合があります。採用作品は、日本薬剤師会で展開させていただきます（採用作品は、日本薬剤師会及び関係団体等の印刷物、映像作品、ぬいぐるみ等あらゆるものに使用する予定です）。

キャラクターの名称は、応募内容に基づき日本薬剤師会にて検討し変更する場合があります。採用者は、日本薬剤師会が採用作品の商標・意匠の出願登録をすることに同意するものとします。

5. 個人情報について

個人情報については、選考・発表に関わる事項、日本薬剤師会キャラクター募集の目的以外で使用することはございません。

個人情報の取り扱いにつきましては、応募された段階で、応募者の同意を得られたものとします。

6. お問い合わせ先

〒160-8389 東京都新宿区四谷 3 丁目 3 - 1

公益社団法人日本薬剤師会 総務部 総務課「公式キャラクター募集係」

TEL : 03-3353-1170

E-mail: character2024 (a) nichiyaku.or.jp ※ (a) はアットマークに読み替えてください。

日本薬剤師会 公式キャラクター 大募集!!

賞金30万円



「薬に関する専門家集団」である日本薬剤師会をより身近な存在として感じられる、親しみのあるキャラクターを募集します。キャラクターは、メディア等を含め、さまざまな広報資料として活用させて頂く予定です。

募集期間 令和6年2月1日(木)～5月31日(金) 17時

●作品イメージ



明るく、親しみを感じるキャラクターを作成し、その名称・制作意図と共に応募してください。オリジナリティのある作品をお待ちしています。

●応募資格



プロ、アマを問いません。
日本薬剤師会の会員でなくても
応募可能です。

●応募条件



応募1回につき1点とします。お一人で何点でも
応募できます。色彩は自由ですが、白黒で使用する
場合も考慮して制作してください。

- ・公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むもの、著作権その他第三者の権利を侵害しているものは審査の対象外になります。
- ・また、採用決定後であっても、これらの条件に違反していたことが判明した場合、採用は無効となります。

●応募方法



下記応募フォームよりご応募ください
作品はグラフィックソフトにて作成したデジタル
データかつ、容量は1ファイル10MB以内、形式
はjpg形式に限りです。
手書き作品をスキャンしたものや写真での応募
はできません。後日、編集が可能なデータ形式で
のファイルの送付をお願いすることがあります。

こちらの応募フォームよりご応募ください

<https://forms.gle/GkSSXMPoyNBLA6za9>



なお、応募フォームからの応募に不具合があった場合や、googleアカウントをお持ちでない方は、jpgデータをメールに添付の上、以下のアドレスからの応募も可能です。E-mail: character2024@nichiyaku.or.jp

※郵送での応募は受け付けておりません。

お問い合わせ

〒160-8389 東京都新宿区四谷3丁目3-1
公益社団法人日本薬剤師会 総務部 総務課「公式キャラクター募集係」
TEL: 03-3353-1170 E-mail: character2024@nichiyaku.or.jp



公益社団法人
日本薬剤師会
Japan Pharmaceutical Association

日薬通達

日本薬剤師会（令和6年2月2日付け日薬業発第412号）より、「令和5年度医薬品販売制度に関する自己点検結果」について、会員へ周知する旨の以下通知がございました。

会員におかれましては、より一層の法令遵守の徹底を周知いただくとともに、法令遵守ができていない薬局・店舗販売業におかれましては、直ちに改善できるようお願い申し上げます。

医薬品販売制度に関する自己点検結果について（ご報告とお願い）

平素より本会会務にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年9月19日付け日薬業発第211号にてご依頼の標記点検の実施につきましては、会務ご多忙の折ご対応いただき、誠にありがとうございました。

今般、その結果を取りまとめましたのでお知らせいたします（別添）。

本点検は、会員の従事する薬局等において、医薬品販売に関する法令上のルールを自ら点検し、その遵守状況を確認することを目的として取り組んでいただいております。

本年度の結果では、多くの薬局等において点検の実施ができ、該当する全項目について適切に実施できる状態となっていることが確認できました。一方、点検を実施できていない薬局等や不十分な項目について改善ができていない薬局等も一部見受けられる状況です。

昨今、若年者の一般用医薬品の過量服薬による健康被害に関する報道が相次いでいることから、適正販売・適正使用に向けた対応が改めて求められていますが（令和5年12月20日付け日薬業発第324号）、国民の安全・安心な医薬品の使用のためには、医薬品販売制度に則った対応を形骸化させることなく、専門家としての薬剤師の適切な関与と適切な医薬品提供体制が不可欠です。

貴会におかれましては、本点検の趣旨をご賢察いただき、本期間に点検を実施できなかった薬局等を含め、期間に限らず点検を実施いただき、全ての薬局等において法令遵守の徹底に向けて対応していただきたく存じます。併せて、法令を遵守した適切な医薬品の提供並びに地域住民に対して医薬品の適正使用を啓発いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<参考>

- 医薬品販売制度対応に関する自己点検の実施結果について
- 令和5年度 医薬品販売制度に関する自己点検

医薬品販売制度対応に関する自己点検の実施結果について

日本薬剤師会は、会員の従事する薬局・店舗が医薬品販売に関する法令上のルールを自ら点検し、その遵守状況を確認することを目的として、都道府県薬剤師会の協力のもと、医薬品販売制度に関する自己点検を実施した。

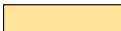
＜実施概要＞

- ・ 会員の従事する薬局・店舗を対象として、自己点検表(参考)を配付。
- ・ 厚生労働省「医薬品販売制度実態把握調査」において遵守状況が不十分であった項目等をより重点的に確認し、全ての項目で法令に則った対応を確実に実施するために、各薬局・店舗は、自己点検表(全体版)等のツールを用いて点検を行い、不十分な項目があれば改善を行った後に、更に、自己点検【重点項目】をチェック。各項目を確認したことを、都道府県薬剤師会を通じて日本薬剤師会へ報告。
- ・ 実施期間: 令和5年9月19日(火)から10月31日(火)
- ・ 【重点項目】は、リスク分類別の販売時の確認に関する事項(4項目)、一般用抗原検査キットの販売時の対応に関する事項(2項目)とし、「第1類医薬品における文書を用いての情報提供」「その内容の理解等の確認」、「濫用等のおそれのある医薬品の複数購入」、「検査の実施方法及び説明事項」等を確認項目とした。

1. 自己点検の回収結果の概要

	薬局・店舗数	率(%)
①: 対象薬局・店舗数	48,956 (前年度: 49,286)	—
②: 自己点検を実施した旨の報告が得られた薬局・店舗数	41,673 (前年度: 42,656)	85.1 (前年度: 86.5) (②÷①)
③: ②のうち、該当する全項目について、適切に実施していることを確認できた薬局・店舗数	41,585 (前年度: 42,522)	99.8 (前年度: 99.7) (③÷②)

2. 都道府県薬剤師会毎の結果

 は全国平均以下

	都道府県	自己点検表を 配付した 薬局・店舗数	実施した旨の 報告が得られた 薬局・店舗数	うち、該当する全 項目の適切な実施 が確認できた数※	実施率	うち、該当する全 項目の適切な実施 が確認できた率※
1	北海道	2,130	2,091	2,091	98.2%	100%
2	青森県	591	565	565	95.6%	100%
3	岩手県	550	394	394	71.6%	100%
4	宮城県	975	822	822	84.3%	100%
5	秋田県	499	437	437	87.6%	100%
6	山形県	529	498	498	94.1%	100%
7	福島県	792	791	789	99.9%	99.7%
8	茨城県	1,005	947	947	94.2%	100%
9	栃木県	756	621	621	82.1%	100%
10	群馬県	775	643	643	83.0%	100%
11	埼玉県	1,711	1,337	1,337	78.1%	100%
12	千葉県	1,929	1,137	1,086	58.9%	95.5%
13	東京都	4,392	2,544	2,544	57.9%	100%
14	神奈川県	1,692	1,378	1,378	81.4%	100%
15	新潟県	1,102	904	904	82.0%	100%
16	富山県	473	464	464	98.1%	100%
17	石川県	468	467	467	99.8%	100%
18	福井県	298	285	285	95.6%	100%
19	山梨県	342	243	243	71.1%	100%
20	長野県	931	854	854	91.7%	100%
21	岐阜県	918	790	790	86.1%	100%
22	静岡県	1,515	1,429	1,429	94.3%	100%
23	愛知県	2,946	2,654	2,654	90.1%	100%
24	三重県	747	734	734	98.3%	100%
25	滋賀県	538	511	511	95.0%	100%
26	京都府	1,025	979	979	95.5%	100%
27	大阪府	3,588	3,498	3,498	97.5%	100%
28	兵庫県	2,319	1,455	1,455	62.7%	100%
29	奈良県	453	422	422	93.2%	100%
30	和歌山県	466	397	397	85.2%	100%
31	鳥取県	270	211	211	78.1%	100%
32	島根県	342	301	301	88.0%	100%
33	岡山県	824	817	817	99.2%	100%
34	広島県	1,475	1,366	1,366	92.6%	100%
35	山口県	767	766	766	99.9%	100%
36	徳島県	366	286	286	78.1%	100%
37	香川県	510	417	417	81.8%	100%
38	愛媛県	616	613	610	99.5%	99.5%
39	高知県	379	361	361	95.3%	100%
40	福岡県	2,427	2,423	2,423	99.8%	100%
41	佐賀県	491	485	485	98.8%	100%
42	長崎県	710	670	670	94.4%	100%
43	熊本県	822	728	715	88.6%	98.2%
44	大分県	544	301	300	55.3%	99.7%
45	宮崎県	553	364	346	65.8%	95.1%
46	鹿児島県	858	831	831	96.9%	100%
47	沖縄県	547	442	442	80.8%	100%
計		48,956	41,673	41,585	85.1%	99.8%

【各薬局・店舗販売業→都道府県薬剤師会】

令和5年度 医薬品販売制度に関する自己点検

【目的】

国民が安全に、そして安心してセルフケア・セルフメディケーションを行うことができるよう、OTC医薬品提供体制はもとより、私たち薬剤師が薬機法に定められた医薬品の販売ルールを遵守することは基本であり、常に点検・確認を行って、法令遵守された取り扱いと対応を確実なものとするため。

【自己点検 手順】

- 自己点検表（全体版）等のツール（以下QRコードや本会HPを参照）を用いて、自薬局・店舗の販売ルールの遵守状況の再確認を行う。
※自己点検表（全体版）による報告は必要ありません。不十分な項目があれば改善を行った上で、該当する全ての項目が適切に実施できる状態に改善していることを確認してください。

自己点検表（全体版）		要指導医薬品・一般用医薬品販売の確認リスト		一般用抗原定性検査キットの取扱いについて	
------------	---	-----------------------	---	----------------------	---

（日本薬剤師会HP会員ログイン＞OTC医薬品販売関連） （日本薬剤師会HP＞新型コロナウイルス感染症に関する情報＞薬局における新型コロナウイルス抗原定性検査キットの取扱いについて）

- 令和5年度自己点検【重点項目】として、下記の項目について遵守状況を確認し、不十分な項目があれば改善を行った上で、適切に実施できる状態に改善していることを確認してチェック☑を記入する。
- 令和5年度自己点検【重点項目】が完了したら、所属の都道府県薬剤師会へ報告する。



自己点検【重点項目】



■ 全ての薬局・店舗

OTC医薬品の取り扱いに関わらず、適切に実施していることを確認の上、確認欄にチェック☑を記入

No	点検内容	確認欄
1	当該薬局・店舗においてOTC医薬品（一般用検査薬を含む）の取り扱いがある	有☐・無☐

■ OTC医薬品の取り扱いがある薬局・店舗

適切に実施していることを確認の上、確認欄にチェック☑を記入

No	要指導	第1類	指定第2類	第2類第3類	点検内容	確認欄
2	○	—	—	—	薬剤師が購入者に対し、当該医薬品は本人が使用することを確認している	☐
3	○	○	—	—	薬剤師が対面により ^{注1} 、書面を用いた情報提供及び指導 ^{注1} をしている	☐
4	○	○	△	△	情報提供及び指導 ^{注1} の内容を理解したこと、他に質問がないことを確認している（「△」は努力義務）	☐
5	○ ^{注2}	○ ^{注2}	○ ^{注2}	—	1人1包装単位で販売している（仕組みが構築されている）	☐

※注1：要指導医薬品のみ適用

※注2：「濫用等のおそれのある医薬品」が対象（1.エフェドリン、2.コデイン、3.ジヒドロコデイン、4.プロモバレリル尿素、5.ブソイドエフェドリン、6.メチルエフェドリンを含有する医薬品）

※「濫用等のおそれのある医薬品」の販売に際しての必要な確認事項は、自己点検表（全体版）で確認してください。

■ 一般用抗原検査キット（新型コロナ、新型コロナ・インフル同時）の取り扱いがある薬局・店舗

No	点検内容	確認欄
6	第1類医薬品のルールに従い、使用者の状況確認等を行い販売している	☐
7	薬剤師が購入者に対し、検査の実施方法及び次の項目を説明し販売している 1.偽陰性の可能性があること 2.陰性証明として用いることができないこと 3.陰性でも症状がある場合の受診勧奨等 4.陽性の場合の受診勧奨等 5.陰性でも感染対策を行うこと	☐

該当する全ての項目について、適切に実施していることを確認した。	確認欄
	☐

薬局・店舗名	管理者名
TEL・FAX	

日薬通達

日 薬 発 第 2 2 6 号
令 和 5 年 1 2 月 7 日

都 道 府 県 薬 剤 師 会 会 長 殿
都 道 府 県 薬 剤 師 会 事 務 (局) 長 殿

日 本 薬 剤 師 会
会 長 山 本 信 夫

2024年薬剤師賠償責任保険等の加入募集について（ご連絡とお願い）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2024年薬剤師賠償責任保険、サイバー保険、アンチ・ドーピング活動保険及び休業補償保険・長期休業補償保険の募集を開始いたします。

つきましては、保険加入の対象会員宛に12月15日以降順次ご案内を送付いたしますので、会務ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、会員への周知並びに加入資格確認等の事務処理において貴会の特段のご協力をお願いいたします。

送付内容につきましては、「4.対象者と送付書類」に詳細を記しております。貴会事務局宛には12月13日頃、損害保険ジャパン株式会社より「各種パンフレット、リーフレット及び払込取扱票」を別途お送りいたしますので、封入物のご確認もよろしくをお願いいたします。

記

1. 薬剤師賠償責任保険 サイバー保険概要

(1) 補償内容についての主な留意点

インボイス制度への対応

本会では2023年10月1日から開始しております「インボイス制度」に関しまして、口座振替金額に含まれる、「金融機関振替手数料（税込100円）」に対する「適格請求書」の個別対応は行っておりません。

(2) 保険期間

2024年2月15日午後4時～2025年2月15日午後4時

◆中途加入の場合は加入方法によって異なります。（パンフレット5ページに詳細記載）

(3) 保険料

薬局契約		補償内容概要		年間保険料（円） ※赤字が変更後保険料
加入プラン		薬剤師 賠償責任保険	サイバー保険	
基本プラン	薬局 A	保険金額 1.5 億円		3,600
	薬局 B		保険金額 1,000 万円	17,100
	薬局 C		保険金額 1 億円	30,600
充実プラン	薬局 D	保険金額 2 億円 初期対応サポート （お見舞い費用など） 特約付帯		4,500
	薬局 E		保険金額 1,000 万円	18,000
	薬局 F		保険金額 1 億円	31,500
サイバー保険のみ	サイバー G		保険金額 1,000 万円	13,500
	サイバー H		保険金額 1 億円	27,000

薬剤師契約		補償内容概要		年間保険料（円）
加入プラン		薬剤師 賠償責任保険	サイバー保険	
基本プラン	薬剤師 A	保険金額 1.5 億円		1,950
充実プラン	薬剤師 B	保険金額 2 億円		2,850

(4) 加入方法・保険料支払方法・申込締切

新規・継続

申込方法（支払い方法）	申込締切日	書類提出締切日	補償開始日	入金日・口座振替（引落日）
払込票での申込み（郵便局払込）	2月14日	—	2月15日	—
ネットでの申込み（銀行振込）	2月14日	—		申込日から1週間以内
書類（加入依頼書）での申込み（口座振替）	1月19日	1月19日		2月26日（継続の場合） 2月26日（新規・変更がある場合）

（パンフレット 5 ページに詳細記載）

★留意事項

1. ネットでの申込みは銀行振込のみとし、口座振替の申込みはできません。
2. 口座振替申込みに使用する「加入依頼書・預金口座振替依頼書」は同封いたしません。本会ホームページに掲載いたしますので、希望される場合は各自ダウンロードしご使用いただきます。
3. 返信用封筒は同封いたしません。
4. 口座振替金額に含まれる「金融機関振替手数料（税込100円）」に対する「適格請求書」の個別対応は行っておりません。（再掲）

(5) 保険加入資格について

1. 本会正会員として会員番号が付番され、本会会員名簿登録事項が保険申込内容と一致している方が加入可能です。**相違している場合は、変更会員データの送付が必要です。**データの送付をもって加入処理を進めますので、入会会員データ・変更会員データはすみやかに本会へご送付くださいますよう、お願いいたします。

★下記ケースの場合は変更報告書を所属の薬剤師会へ提出するよう、会員へ周知ください。

- ①勤務薬剤師から管理薬剤師に変わっている。
 - ②薬局名称や住所が変わっている。
 - ③自宅住所が変わっている。
 - ④勤務先が変わっている。
 - ⑤改姓している。
2. 薬局契約は、本会会員名簿に登録されている薬局での加入になります。複数店舗を有する開設者または法人代表者は、本会会員名簿に登録されている店舗でのみ加入可能です。
 3. メーカーや卸売販売業等に勤務されている正会員は、薬剤師賠償責任保険の対象にはありませんが、「お客様相談窓口」等で直接消費者との医薬品情報の提供業務を行っている方は薬剤師契約に加入可能です。募集のご案内を送りしておりませんので、加入を希望される場合、貴会に備えている「パンフレット、払込取扱票」をお渡しくださいますよう、お願いいたします。
 4. 本会正会員の貴会情報担当部署の職員は、各自 薬剤師契約をお申込みください。薬局契約の申込みはできません。

(6) 加入後の変更について

申込内容を変更する際には、本会ホームページから各種変更届をダウンロードし本会へ提出していただくよう、会員に周知をお願いいたします。旧様式は使用できませんので、ご注意ください。（パンフレット5ページに詳細記載）

(7) 加入後、再加入が必要な場合について

薬剤師賠償責任保険の薬局契約やサイバー保険契約は、薬局店舗にかかる保険であり、監督責任者（本会正会員の管理薬剤師、開設者または法人代表者）の名義で加入することになっています。その監督責任者が変更となった場合は、「薬剤師賠償責任保険（サイバー保険）薬局契約加入者名変更届」をご提出いただくことで現行の保険を継続できますが、譲渡等により経営母体が変わる場合は、事故発生時の保険金受取先や事故責任の所在を明確にするため、保険譲渡について話し合ってください。譲渡しない場合は、譲渡前の加入者により解約手続きをし、譲渡後の監督責任者名で再加入の手続きを行っていただくよう、ご説明をお願いいたします。

なお、保険期間が継続されるよう、迅速なご対応を重ねてお願いいたします。

(8) 留意事項

1. 払込取扱票での申込みの際には、必ず今回加入用にお送りしている払込取扱票をご使用いただくよう、周知をお願いします。過年度の払込取扱票での申込みは原則受付できません。

2023年10月20日時点において、本会に入会の報告がされていない会員へはご案内しておりません。加入希望の問い合わせがございましたら、貴会に備えている「パンフレット、払込取扱票」をお渡しいただくか、ネット申込みをご案内くださいますよう、お願いいたします。（会員番号が付番されていない場合は、ネット申込みはできません。）

2. 本会会員名簿に「無職」で登録されている会員には、2023年10月までに保険加入している会員にのみご案内しますので、ご案内を受け取っていない「無職」登録の会員が加入を希望される場合も、1.と同様のご案内をお願いいたします。

3. 2023年にネット申込みまたは口座振替で加入された方へは、払込取扱票をお送りいたしません。払込取扱票にて申込み希望の問合せがございましたら、貴会に備えている「払込取扱票」をお渡しくださいますよう、お願いいたします。また、現在口座振替での加入者は引落停止の手続きが必要ですので、本会へ連絡するよう併せてご説明もお願いいたします。

4. 保険料を支払い済でも、本会会員登録が無い場合は、保険加入希望日に補償開始にならないこともございますので、ご注意ください。

例：保険料を支払う時点では非会員の方が1月28日に保険料をお支払いいただいても、その方の会員入会受付が4月1日の場合、保険加入始期は4月1日となることもあります。

2. アンチ・ドーピング活動保険概要

(1) 補償内容

詳細は「アンチ・ドーピング活動保険」のリーフレットをご覧ください。

(2) 保険期間

2024年2月15日午後4時～2025年2月15日午後4時

◆中途加入の場合：申込日（郵便局受付日）の翌日～2025年2月15日午後4時

(3) 保険料

年間保険料2,700円

中途加入保険料につきましてはリーフレットをご覧ください。

(4) 加入方法・保険料支払方法・申込締切

リーフレット付属の払込取扱票を切り取って郵便局にてご使用いただきます。

申し込み締切日につきましてはリーフレットをご覧ください。

3. 休業補償保険・長期休業補償保険概要

(1) 補償内容についての主な留意点

インボイス制度への対応

本会では2023年10月1日から開始しております「インボイス制度」につきましては、口座振替金額に含まれる、「金融機関振替手数料（税込100円）」に対する「適格請求書」の発行を、ご依頼のあった場合のみ個別に対応する方向で検討中です。会員から照会のあった場合は、本会まで連絡するようご説明ください。

(2) 補償内容

詳細は「薬剤師休業補償保険」のパンフレット2ページ及び3ページをご覧ください。

(3) 保険期間

2024年2月15日午後4時～2025年2月15日午後4時

◆中途加入の場合：本会への書類到着日翌月15日～2025年2月15日午後4時
(パンフレット6ページに詳細記載)

(4) 保険料

2023年の保険料と同額（パンフレット4ページに詳細記載）

◆年齢区分が変更になると、保険料も変更になります。

(5) 申込方法・申込締切

申込方法

申込方法	保険料支払方法	必要書類
書類（加入依頼書）での申込み	口座振替	●加入依頼書 ●預金口座振替依頼書 ●告知書 日本薬剤師会HPまたはご案内同封のチラシからご請求ください。
ネットでの申込み	口座振替	●加入依頼書 ●預金口座振替依頼書 ●告知書 https://dantaihoken.net/nichiyaku にて申込みのうえ、 必要書類を日本薬剤師会へご送付ください。

申込締切

申込方法	書類提出締切日 (日本薬剤師会必着)	補償開始日	口座振替（引落日）
書類（加入依頼書）での申込み	1月19日	2月15日	(初回引落) 4月26日 以降毎月26日 ※金融機関が休業日の場合は翌営業日
ネットでの申込み			

(パンフレット6ページに詳細記載)

4. 対象者と送付書類

2023年10月20日時点の本会会員名簿に基づき、保険加入資格を有する会員に募集案内書類を送付いたします。2023年の加入方法によって送付物が異なりますので、下表を参照してください。

(募集案内書類)

- ①加入のご案内(払込取扱票付、払込取扱票無)または、継続のご案内(払込取扱票無)
- ②薬剤師賠償責任保険 サイバー保険パンフレット
- ③休業補償保険・長期休業補償保険チラシ(新規加入申込書送付依頼書付)
- ④アンチ・ドーピング活動保険加入のご案内リーフレット(払込取扱票付)
- ⑤薬剤(商品)補償制度/新型コロナウイルス感染症対応店舗休業補償制度チラシ
- ⑥休業補償保険・長期休業補償保険 継続のご案内(既加入者のみ)
- ⑦薬剤師休業補償保険パンフレット(既加入者のみ)

送付対象者			送付先	送付物
会員属性	2023年加入状況			
正会員 ※注1	賠償未加入者		日薬雑誌送付先住所。但し、開設者・法人代表者・管理薬剤師は名簿登録の勤務先住所	加入のご案内(払込取扱票付)
	賠償サイバー加入者	払込取扱票支払		
		銀行振込支払※注2	原則2023年加入申込時記入の住所	加入のご案内(払込取扱票無) 継続のご案内(払込取扱票無)
		口座振替支払※注2		
正会員	アンチ・ドーピング未加入者		賠償に同じ	アンチ・ドーピング活動保険リーフレット(払込取扱票付)
	アンチ・ドーピング加入者※注3	払込取扱票支払		
正会員	休業補償保険 長期休業補償保険加入者		原則2023年加入申込時記入の住所	継続のご案内

★留意事項

- 薬剤師賠償責任保険等のご案内同封の休業補償保険については、パンフレットではなく、A4サイズのチラシを送付しております。
- 薬剤(商品)補償制度・新型コロナウイルス感染症対応店舗休業補償制度の募集は別途行いますので今回の発送物としてはご案内のチラシのみです。

※注1：2023年10月までに保険未加入の「会員名簿業態：教育研修・行政・卸売販売・医薬品製造販売・無職」の会員を除く。

※注2：申込み時と2023年10月20日時点の会員名簿の勤務先・住所等が異なっている会員へは、加入のご案内(払込取扱票付)を送付

※注3：アンチ・ドーピング活動保険加入者には、賠償の加入のご案内(払込取扱票付)に加入状況を記載して通知。このため賠償に銀行振込または口座振替で加入されている方には、それぞれのご案内とは別に加入のご案内(払込取扱票付)を送付

6. 会員向け広報

日薬雑誌、日薬ニュース2023年12月号～2024年2月号に掲載いたします。

7. 保険会社からの説明について

各都道府県薬剤師会担当の保険会社（損害保険ジャパン株式会社）より2024年2月中旬までに貴会にご説明に伺います。追って担当者より連絡がございますので、日程のご調整をお願いいたします。

各都道府県で薬剤師賠償責任保険 サイバー保険並びに休業補償保険・長期休業補償保険の他、相続税対策等を希望される事項を組み入れたセミナー開催等も可能です。

8. 問い合わせ先

総務部 会計・厚生課 損害保険担当 TEL:03-3353-1190

お知らせ

Facebook をご覧下さい！

祝 おかげさまで創立90周年を迎えました！

一般社団法人
沖縄県薬剤師会
@okinawaopa

ホーム
投稿
写真
ページ情報
いいね！
ページを作成

いいね！ メッセージ シェア その他 お問い合わせ

基本データ 編集を提案

FIND US

下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

転載記事

沖縄県難病相談支援センター発刊の難病情報誌「アンビシャス」に、本会の吉田典子理事（薬事情報センター長）の執筆記事が連載されています。

Vol.256 (2023年9月号)

今月のおくすり箱

旅先で薬が足りなくなった。
どうしたらいいの？



台風シーズンを迎え、観光に訪れた方より「飛行機が欠航して帰れなくなった。薬が足りなくなったが、どこで入手できますか？」といったご相談を受けることがあります。

旅行中は体調不良や紛失などのトラブル等で薬を切らしてしまう場合もあります。皆さんもご存じの通り、原則として医療機関から処方される薬は処方せんがないと購入することができません。急な事情で薬が足りなくなったら、まずはかかりつけの医療機関にご相談ください。医療機関の発行した処方せんがあればこの薬局でも薬を受け取ることができます。可能であれば、旅先で慌てる事の無いよう、事前にご自身の体調や薬の事などについて主治医に相談しておきましょう。

薬は1週間分程度多めに用意しておくといいでしょう。また、急な病気の場合には、お薬手帳があると安心です。旅先での受診の際、お薬手帳があればお薬の名前・用法・用量などが正確に目でわかるため迅速に対応してもらえます。最近では、お薬手帳アプリも数多く普及していますので、常に携帯しているスマートフォンを活用するのもいいですね。



沖縄県
薬剤師会
吉田 典子

Vol.257 (2023年10月号)

今月のおくすり箱

湿布薬の使用について



肩こりや腰痛で気軽に使用されている湿布薬。湿布薬には保湿効果があり刺激の少ないパップ剤と伸縮性がありはがれにくいテープ剤があります。製品によって無臭タイプ、目立たない肌色等様々な工夫がされています。最近では、肩や腰などに貼るための補助具も販売されています。気になる貼付時間ですが、一般的に1日2回タイプであれば12時間、1日1回タイプでは24時間とされていますが、皮膚の弱い方などは長時間貼り続けるとかぶれを起こすこともあるため、その半分開きの時間を目安にするといいたいでしょう。早めに剥がし皮膚を休ませるようにしましょう。

湿布薬は一気に剥がすと皮膚の表面がはがれ傷つけることもあるため注意が必要です。特に粘着力の強いテープ剤は周りの皮膚を手で押さえながら、皮膚に添ってゆっくり剥がしたり、端の方から丸めながら剥がすと皮膚に負担もかからず痛みも少なくなります。剥がした後、一ヶ月は光線過敏症を起こすことがあるため、長袖や長ズボンなどを着用し湿布を貼った部位に日光を当てないようにしましょう。サポーターや帽子、日傘などを使用してみるのもいいかもしれません。



沖縄県
薬剤師会
吉田 典子

Vol.258 (2023年11号)

今月のおくすり箱

薬が効かなくなることで
あるの？



細菌やウイルスなどの病原体が体内に入ること引き起こされる病気のことを「感染症」といいます。感染症の治療は、食中毒等細菌が原因の場合には抗菌薬、インフルエンザやコロナ感染症の場合には抗ウイルス薬が処方されます。

治療のためには、その抗菌薬等の用法・用量・投与日数を守らなければいけません。しかしながら、熱が下がった、症状が良くなったからといって薬を途中でやめてしまうと、体の中に残っている細菌やウイルスが増殖し再び症状が現れることがあります。この細菌等が薬に抵抗性を持つことで、薬の効かない細菌いわゆる「薬剤耐性菌」、「薬剤耐性ウイルス」が現れ、これらが増えてくると感染症の予防や治療が難しくなります。

今流行しているインフルエンザ治療薬の1つオセルタミビルを服用している患者様より「熱が下がったので途中で服用を止めたら、数日後にまた症状が出てきてしまった」といった相談も度々寄せられています。症状改善、薬剤耐性を防ぐためにも、処方されたお薬は最後までしっかりと飲み切る事が大切です。



沖縄県
薬剤師会
吉田 典子

Vol.259 (2023年12月号)

今月のおくすり箱

頭痛薬を飲み過ぎても
頭痛が起こる？



頭痛というと片頭痛や緊張性頭痛などの慢性頭痛がよく知られています。女性に多くみられる片頭痛や、身体的・精神的なストレスが関係する緊張性頭痛は繰り返し起こるため、学校や仕事、家事等日常生活へも大きく影響します。

痛みがある時には我慢せずに頭痛薬を適切に服用することで、痛みも和らぎ普通の生活を送る事ができます。しかしながら、痛みに対する不安から頭痛が起こる前に予防的に薬を飲んだり、1日の使用量を越えて服用したりすると、脳が過敏になりちょっとした事で頭痛が起こるなど、かえって頭痛を悪化させてしまうことがあります。これを薬剤の使用過多による頭痛（薬物乱用頭痛）といいます。頭痛薬の服用が長期にわたり月に10日以上続いている場合には、この薬物乱用頭痛の可能性があります。

治療としては原因となった頭痛薬の減量あるいは中止する等の方法がとられます。ご自分で市販薬を買って飲んでいて、ちよつと服用頻度が多いかなと気づかれた方は早めにかかりつけの先生や頭痛専門の先生にご相談ください。



沖縄県
薬剤師会
吉田 典子

Vol.260 (2024年1月号)

今月のおくすり箱

耳鳴り



外からの音がないのに耳の中で「キーン」「ジー」等の音が聞こえる症状を耳鳴りといいます。耳鳴りは高齢者に多くみられますが、ストレスや疲れなどから若い方でも起こることがあります。中でも65歳以上では30%以上が苦痛を感じているといわれ、症状が重い場合には不安や集中力低下、睡眠障害等日常生活に大きく影響します。

耳鳴りの原因は加齢によるもの、病気によるもの等が考えられています。薬の副作用による耳鳴りも報告されています。治療は耳鳴りの原因となる病気の治療や症状によつては薬が処方されることもあります。治療薬としては、内耳の働きを改善するビタミンB12製剤や血流改善薬、血管拡張薬が用いられます。また、耳鳴りや耳鳴りによる辛さを軽減する目的で、抗不安薬、抗うつ薬、漢方薬（当帰芍薬散や苓桂朮甘湯等）等が使用されることもあります。

耳鳴りが続くと不安やストレスとなり、こころの病気になることもあるので、早めに耳鼻科を受診しましょう。最近では耳鳴りの苦痛改善を目的にカウンセリングや音響療法、認知行動療法等も行われています。



沖縄県
薬剤師会
吉田 典子

薬連だより

オレンジ日記

災害薬事コーディネーター

参議院議員・薬剤師

本田 顕子



能登半島地震に際し、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

皆様、ご越年はいかがでしたか。

私は年末にいわゆる「在京当番」（緊急事態に備えて、閣僚が東京を離れる場合に副大臣または大臣政務官が代理として参集できる範囲に所在すること）でしたので都内で越年し、元日は皇居・宮殿の「新年祝賀の儀」に初めて出席いたしました。

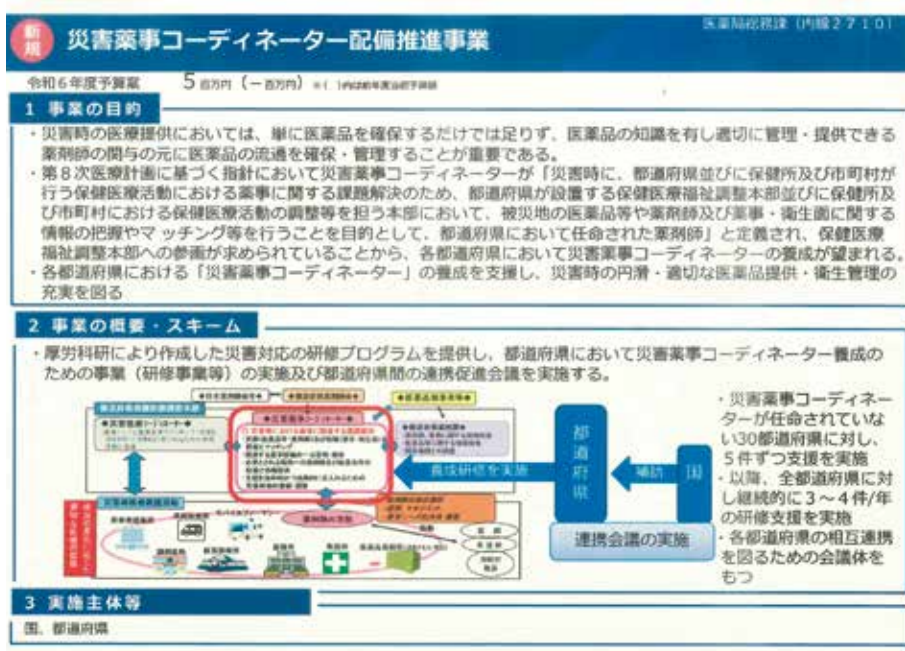
天皇陛下から国民の幸せと国の発展を祈るお言葉を賜り、私も国民の皆様の命と暮らしを守れるように本年もしっかり頑張っていこうと心に刻んでおりましたその日の午後の発災でした。

直ちに日本薬剤師会に災害対策本部が設置され、被災した地域の薬剤師会との情報共有がなされ、各都道府県薬剤師会との間では薬剤師派遣やモバイルファーマシー出動等の支援実行に備える協議なども行われております。

災害時の医薬品確保はいつも重要な課題になります。慢性疾患をお持ちの方々にとって必要な医薬品が不足してはなりませんし、避難所での集団生活では感染防止のための衛生管理も大切です。仮に必要な医薬品が確保されていたとしても、それらを必要とする所に届いていなければなりませんので、改めて災害薬事コーディネーターの重要性を感じます。

新年度からスタートする第8次医療計画では、災害薬事コーディネーターは薬剤師が担うこととされ、被災地の医薬品等や薬剤師及び薬事・衛生面に関する情報の把握やマッチング等を行うことを求めています。

厚生労働省の令和6年度予算案に「災害薬事コーディネーター配備推進事業」を盛り込んでいます。全都道府県に災害薬事コーディネーターを配備するための養成事業を有効に活用し、災害にも強い医薬品提供体制を整えることができるよう求めてまいります。



薬連だより

政幸だより

大麻取締法改正案の審議で質問に立ちました

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



令和5年10月20日に開会された臨時国会で「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」が審議され、12月5日の参議院厚生労働委員会で質問に立ちました。大麻草の医療や産業における適正な利用を図るとともに、その濫用による保健衛生上の危害の発生を防止するため、①大麻草から製造された医薬品の施用等を可能とするための規定の整備、②大麻等の施用罪の適用等に係る規定の整備、③大麻草の栽培に関する規制の見直しに係る規定の整備等の措置を講ずることが改正の趣旨です。

委員会では、薬物乱用における一次予防、使用罪が規定されていなかった理由、いわゆる大麻グミによる健康被害拡大防止、今後の大麻規制、エピデジオレックスへの期待、医療用大麻の定義と大麻解禁というイメージの払拭、学校薬剤師への期待と今後の支援拡充についてそれぞれ質問を行いました。

特に、たとえ違法薬物を勧められても「ダメ。ゼッタイ。」ときっぱりと断り、自分の体を大切にすること。自分の人生の主人公は自分だという趣旨の下に学校薬剤師として取り組んできた経験を踏まえ、薬物乱用防止の一次予防効果に対する評価と学校薬剤師活動に対する期待、今後の支援拡充について質しました。政府参考人から、我が国は諸外国と比較して極めて低い薬物の生涯経験率を維持することができており、これは学校薬剤師を含め薬物乱用防止指導員等の関係者が小学校、中学校、高等学校等で行う薬物乱用防止教育の成果である。今後とも、低い生涯経験率を有する我が国の特徴を維持したい。そして、学校薬剤師に対する最新の薬物情報に基づいた教育コンテンツに関する研修の実施と、活動に対する支援の充実を行う旨の回答を得ました。



厚生労働委員会（大麻取締法改正案）（令和5年12月5日）

転載記事

薬学部設置向け連携 県と琉大、協議継続確認

県の県内国公立大学への薬学部設置構想について、県の池田竹州副知事と琉球大学の西田睦学長は21日、県庁で面談し、今後も設置の可能性も含めた協議を続けていくことを確認した。

人口10万人当たりの薬剤師数は、沖縄が全国ワーストの状態が続いている。西田学長は「薬剤師不足は大きな課題。できる限りのことはやりたい」としつつも「全国的に若者の人口が減る中、文科省が新学部設置を認めるハードルは高い。解決にはさまざまな工夫が考えられるので一緒に検討していきたい」と述べた。

池田副知事も「国に支援
琉大への薬学部設置の可能性も踏まえた協議を続けることを確認した県の池田竹州副知事（右）と西田睦学長（左）21日、県庁

の輪を広げる必要がある。協議の場を通じて知恵を絞り、汗をかいていきたい」と述べた。

県が8日に締め切った薬学部設置構想に応募する大学はなかったが、琉大はゼロベースで協議を続ける意向を示していた。

（社会部・下里潤）

沖縄タイムス
令和5年12月22日（金）

薬学部設置協議で合意 県と琉大 薬剤師不足解消へ

県の池田竹州副知事と琉球大学の西田睦学長は21日に県庁で面談し、慢性的な薬剤師不足の解消や県内国公立大学への薬学部設置に向けて、県と大学で協議の場を設置することで合意した。

池田副知事は薬学部設置には高いハードルがある」と理解を示し、国への財政支援を求めることなども含め「県も知恵を絞って、汗をかいていきたい」と述べた。

西田学長は、現行制度で新たな学部設置や学生定員を増やすのは困難があると説明。行政からの財政支援とは別に、地域全体で薬学部設置を求める動きも必要として、県としての主体的関与を求めた。

薬剤師不足が続く県内事情とは反対に、文科省は全国的に薬剤師の供給過剰が起ころうとして、薬学部定員を抑制する方針を示している。

面談後、西田学長は国の動向や今後加速する人口減少社会の中で、薬剤師不足がいつまで続くか、また、薬学部設置以外の施策がないか検討することにも必要だとし、「多角的に県と協議していきたい」と語った。

県は薬学部設置に向け、推進協議会を設立し、

今年2月に基本方針を策定。その後、県内大学から薬学部設置構想を募集していたが応募がなかった。琉大側は、財政支援や人材確保などの課題があるとして応募を見合わせていたが、県側に「県と緊密に連携しつつ協議を進めたい」と回答していた。

（嘉陽拓也）

琉球新報
令和5年12月22日（金）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

琉球新報 令和6年1月12日（金）

琉球新報 2024年1月12日

沖縄県の薬剤師不足が叫ばれて久しいが、相変わらず慢性的な薬剤師不足の状況は変わっていない。

かといって、県や県薬剤師会がこれまで何もしてこなかったわけではない。

県は県外に居住する薬剤師に対し、県内での就業を条件として、奨学金返還額の

一部を助成する仕組みを設け、県外からの薬剤師の呼び込みと定着に

努めてきた。

さらに全国の薬科大学へ出向き、県出身や他県出身の学生を対象に就職あっせんガイダンスを開催するなど、薬剤師確保の事業を行ってきた。

県薬剤師会も、これらの事業に参画する形で県と共に取り組みを進めてきたが、県外への人



阿部 義則

論壇

材流出や薬剤師自身の高齢による廃業などもあり、残念ながら慢性的な薬剤師不足の状況に変わりがない。

やほり、県内で薬剤師を養成するとい根本的な対策が必要なのである。

そこで、県は数年にわたる調査事業を経て、昨年2月に「県薬剤師会、県看護協会の賛同を得て

薬剤師確保の根本的対策

県内国公立大に薬学部を

内国公立大学薬学部設置シンポジウム」を開催し「沖縄県内国公立大学薬学部設置に関する基本方針」を公表した。

その中のロードマップで薬学部の開学を2028年4月とし、昨年9月から薬学部を設置する県内国公立大学を公募し始めた。

4師会として、琉球大学、県知事、県議会へ要請や陳情を行ってきたほか、本会独自で県関係国会議員や薬剤師連盟関係国会議員などへも薬学部設置に向けた協力要請を行ってきた。

また、昨年11月の武見敏三厚生労働大臣の「琉大の薬学部設置は、ぜひ実現させたい。省内でも議論していきたい」との報道は大変心強い。

昨年12月8日に締め切りとなった県の薬学部設置構想の公募への県内国公立大学の応募は1件もないという残念な結果となった。

その後の県の動向を注視しているが、10万筆余りの署名を頂いた方々の思いとともに県薬剤師会としては、薬学部設置が実現するまで今後も各方面への働きかけを継続していく考えに変わりはない。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

本会から姫野耕一常務理事を派遣しました。

沖縄タイムス 令和6年1月8日（月）



県医師会6人石川へ出発

能登半島地震で県医師会は7日、医療救護班（JMAT沖縄）の第1陣6人を石川県に派遣した。同県穴水町の穴水総合病院対策本部を拠点に、12日までの6日間、避難所などで医療活動を行う。

派遣は日本医師会の要請で、被災者の診療や感染予防などに従事する。メンバーは医師2人、看護師2人、薬剤師1人、業務調整員1人。同会災害医療委員長でもとぶ野毛病院の医師、出口宝さん（65）は阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震でも救護活動を経験した。「いかに災害関連死を防ぐかが大事。安全第一に、これまでのノウハウを生かしながら細かなニーズに沿った対応をしていきたい」と語った。

同医師会は10日に第2陣、13日に第3陣を順次送る予定。
（社会部・垣花きょうら）

琉球新報 令和6年1月8日（月）



県医師会が救護派遣

県医師会（安里哲好会長）は7日、日本医師会の要請を受け、石川県能登半島地震の被災地に県医師会医療救護班（JMAT沖縄）を派遣した。写真。第1陣は5泊6日の日程で医師2人と看護師

2人、薬剤師1人、事務員1人の計6人。当面は第3陣までを同様の人員と日程で被災地に派遣する予定だ。

7日、南風原町の県医師会館で開かれた出発式に参加したJMAT沖縄代表の出口宝医師もとぶ野毛病院は「安全第一で被災地の役に立ちたい」と話した。

出口医師以外で派遣される第1陣メンバーは以下の通り。

洲鎌盛一医師（牧港中央病院）▽常住美穂看護師（同）▽東江信生看護師（国立病院機構沖縄病院）▽姫野耕一薬剤師（大浜第一病院）▽新垣昭吾業務調整員（県医師会事務局）（梅田正寛）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事



JMAT沖縄の第1陣として被災地で支援活動している東江信生さん(左)、姫野耕一さん(左から2人目)、洲鎌盛一さん(同4人目)、富来病院の中村健一副院長(中央)、谷内安寿香さん=10日、石川県志賀町富来

沖縄の医師ら救護活動

第1陣志賀町で巡回診療

【石川県で照屋剛志】沖縄県医師会が能登半島地震の支援で派遣した医療救護班(JMAT沖縄)が被災地で活動している。最大震度を記録した志賀町では医師、看護師、薬剤師の3人がチームとなり、避難所を巡回診療。医師の洲鎌盛一さんは「水が出ない過酷な環境の中、みんな頑張っている。コロナとインフルエンザの患者が出ており、感染症対策にも力を入れている」と話した。

県医師会は7日にJMAT沖縄の第1陣として6人を派遣。石川県庁にある災害対策本部の支援と、避難所を巡回診療する2チームに分かれて活動している。巡回診療チームは、志賀町立富来病院を拠点にし、富来地区の避難所を回っている。洲鎌さんは「腹痛や吐き気、せきを訴える人が多い。避難所の厳しい生活が影響している」と語る。

医療従事者が圧倒的に不足しているという「富来病院のスタッフも被災しているが、奮闘している。少しでも力になりたい」とした。同地区では、町が指定する避難所8カ所に約600人が避難している。指定避難所とは別に、地域住民が自主的に集まっている所も複数あるという。薬剤師の姫野耕一さんは「行政が把握できていない自主避難所もあり、全体像はまたつかめない」と指摘した。

看護師の東江信生さんは避難生活での食事を心配。「カップ麺やパンが多く、栄養の偏りがある。栄養バ

沖縄タイムス
令和6年1月11日(木)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

令和5年12月

- 1金○令和5年度都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者研修会 県薬ホール 吉田理事
- 1金○令和5年度第3回医療保険委員会 県薬研修室
- 4月○令和5年度第9回業務執行理事会 県薬会議室
- 6水○沖縄県医療提供体制協議会「令和5年度第3回在宅医療部会」 沖縄県医師会 盛本直也
(地域医療提供体制対策委員会)
- 7木○令和5年度第4回広報委員会 県薬会議室
- 9土○令和5年度第10回理事会 県薬研修室
- 10日○**令和5年度第3回沖縄県薬剤師研修協議会講演会** 講師：山本康次郎氏 県薬ホール
- 13水○沖縄県医療推進協議会 パシフィックホテル沖縄 前濱会長
- 14木○令和5年度試験検査センター連絡協議会・技術研修会(15日迄) ホテルグランテラス富山(富山県) 小泉試験検査センター長代理、飯塚雄矢委員(試験検査センター委員会)
- 14木○新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 照屋林一郎(医療保険委員会)
- 17日○**青年薬剤師部会主催若手薬剤師交流バーベキュー** 美々ビーチ(糸満市)
- 18月○第2回県内国公立大学薬学部設置推進事業構想審査会 県薬研修室 前濱会長、中村副会長
- 19火○令和5年度第9回管理者会議 県薬研修室
- 19火○令和5年度第3回沖縄県感染症対策連携協議会 沖縄県医師会 阿部専務理事
- 21木○新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 喜屋武芳美(医療保険委員会)
- 21木○令和5年度第3回沖縄県保険者協議会 沖縄県市町村自治会館 阿部専務理事
- 21木○令和5年度第2回沖縄県循環器病対策推進協議会 沖縄県医師会館 阿部専務理事
- 22金○令和5年度上期監事監査 県薬研修室 江夏・山里両監事、前濱会長、川満副会長、阿部専務理事、事務局：大城事務局長、玉寄課長、上原主任、宮城
- 22金○令和5年度第9回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 22金○令和5年度第2回試験検査センター委員会 県薬研修室
- 23土○**令和5年度オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会** 県薬研修室
- 26火○令和5年度第4回学術研修委員会 県薬研修室
- 27水○令和5年度第2回県医療提供体制協議会 沖縄県医師会館 前濱会長

令和6年1月

- 5金○沖縄県小児保健協会新年会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 前濱会長、知名常務理事
- 6土○沖縄県看護協会受賞祝賀会並びに新年会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 前濱会長
- 6土○令和6年沖縄県医師会新年祝賀会並びに医事功労者表彰 ザ・ナハテラス 前濱会長
- 9火○令和5年度第10回業務執行理事会 県薬会議室
- 10水○日本薬剤師会令和5年度第4回都道府県会長協議会 WEB 前濱会長
- 13土○令和5年度第11回理事会 県薬研修室
- 14日○**沖縄県薬業連合会主催令和5年度薬事功労受賞者合同祝賀会** ダブルツリー byヒルトン那覇首里城
- 16火○令和5年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 佐藤常務理事
- 16火○令和5年度沖縄県医療審議会 沖縄県医師会 前濱会長
- 17水○社会保険診療報酬支払基金令和6年1月審査運営協議会 沖縄審査委員会 社会保険診療

報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事

20土○沖縄県栄養士会令和6年新年会～公益法人設立10周年並びに表彰受賞祝賀会 オリオン
ホテル那覇 古謝副会長

20土○令和5年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 湯元荘東洋館（佐賀県） 前濱会長、知名
学校薬剤師担当理事、新垣紀子学校薬剤師部会長

22月○令和5年度 第7回地域医療提供体制対策委員会 県薬研修室

23火○令和5年度第10回管理者会議 県薬研修室

24水○令和5年度「健康おきなわ21」推進協議会 八汐荘（那覇市） 村田理事

25木○令和5年度地域連携薬局・専門医療機関連携薬局・健康サポート薬局に関する研修会 県
薬研修室

26金○令和5年度薬事情報センター実務担当者等研修会 県薬ホール 吉田薬事情報センター
長、白坂亮（薬事情報委員会）

27土○令和5年度九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練 県薬ホール 姫野常務理事、知念理事、事
務局：長嶺主任

28日○令和5年度第3回女性薬剤師部会研修会 講師：中井博氏 県薬研修室

28日○令和6年沖縄技新年祝賀会・医事功労者表彰式 ノボテル沖縄那覇 古謝副会長

30火○令和5年度沖縄県薬事審議会 八汐荘（那覇市） 前濱会長、中村副会長、村田理事

31水○令和5年度第3回沖縄県国民健康保険運営協議会 県庁 宮城常務理事

沖縄県薬剤師連盟

令和6年1月

17水○全国 SNS 実務担当者会議 WEB 知名組織強化担当、事務局：金城、徳元、比嘉

25木○本田あきこ中央後援会「名簿管理システム」説明会 WEB 前濱会長、石川幹事長、阿部
専務理事、事務局：大城事務局長、玉寄課長、長嶺主任、平安山、根間

27土○令和5年度沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム 県薬ホール

31木○第3回都道府県薬剤師連盟会長会 WEB 前濱会長

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大浜 貴子 先生（享年77歳） 令和6年2月1日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
（香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】沖縄県薬剤師会事務局（玉寄・大城）：098-963-8930



誌上ギャラリー（裏表紙）について

令和5年誌上ギャラリー大賞



第319号（令和5年8・9・10月号）掲載 宮本 直樹氏の撮影写真「クルーズ船の灯り」

令和5年誌上ギャラリー優秀賞



第317号（令和5年3・4月号）掲載 廣川 直子氏の撮影写真「千鳥ヶ淵の桜」

おめでとうございます！これからも会員の皆様からの多くの作品をお待ちしております!!

編

集

後

記

「もう桜が咲いているの～」とは先日来沖した知人家族。その日東京は雪だったそうで、沖縄の春の訪れに驚くばかり。かくいう私も所用で北部を訪れた際に、桜の開花を目にした。青空に映える桜は感動ものだ。1月下旬から北部では桜祭りが開催されているが那覇市近郊の開花情報はまださびしい。昨年は東郷寺の枝垂れ桜と目黒川の桜並木を訪れた。ほぼ満開の東郷寺は多くの花見客で賑わい、山門の厳かな佇まいもあいまって心豊かに過ごしたのを覚えている。目黒川の桜はまだ3分咲くらいだったが水面にむかっている桜が印象的だった。（太陽の光が川面に反射して下の枝が水面に向かって伸びるのだとか）いつか「富士山と桜」の写真を撮りたいと思っている。今年もよろしくお願い致します。（クララ）

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。さて、皆様はお正月をどのようにすごされましたか？私はちょっとしたハプニングに見舞われました。なんと、年が明けて早々、食中毒になってしまったのです。おそらく、年末食べた焼き鳥が原因だったようです。正月三日は強烈な腹痛と発熱で苦しむことになりました。幸い、数日で体調は回復に向かいましたが、新年早々の体験には驚かされました。皆様もどうか健康には十分気をつけて、素晴らしい一年をお過ごしください。そして、本誌を今後ともよろしくお願いいたします。（ちゃげ）

名護チャレンジRUN（20kmコース）に出場してきました。以前は名護ハーフマラソンでしたが昨年コースもリニューアルして生まれ変わった大会です。このマラソンの特徴は何と云っても「坂」。名護ひんぷんガジュマルをスタートし、名護岳を越えて大浦湾まで行き、折り返してくる山越えのコース。スタート直後から上り坂に入り一気に標高200mまで駆け上がります。ちなみにNAHAマラソンは前半20kmの間に約120m上昇しますが、この大会はたった4kmの間に200mまで上ります。折り返し地点は大浦湾なので、やっと登ったと思ったら一気に駆け下ります。折り返しコースということは、、、そうです、また上るんです。今乗り越えてきた200mをまた上るんです。心が折れそうになりながらも隣を走る？歩く？ランナーさんたちとも励まし合いながら足を進め、最後の下りは転げ降りるような状態で、目標だった2時間をなんとかクリアして1時間58分15秒でゴール。

難コースでしたが、終わってみればアップダウンやトンネルなどコースに変化も多く、楽しめた大会でした。お疲れ様でした！

（ハンバーグ）

わが中部地区の「薬タッチャーの会」の宣伝をします。前回いつ参加したか全く覚えてないほど、本当に久しぶりに中部地区薬剤師会主催の研修会「薬タッチャーの会」に参加した。コロナ禍あけの7月に第43回、12月には第44回が開催されたが、研修会は以前とは少し様子が変わっていた。開催場所は中部地区の中頭病院・県立中部病院・中部徳州会病院の三病院の持ち回りで、各病院薬剤部の先生方が積極的に関わってくださっていた。日病薬の単位が取れるということで病薬の先生方の参加が多かったようである。現地とWEBのハイブリッド開催でWEBでの参加者は現地の参加者の倍以上いたとのことである。勿論研修の中味も引き締まった内容で、大変参考になる講義であった。日病薬の単位については、第43回は現地参加者のみ、第44回はWEB参加者も単位取得が出来たとのこと。中部地区薬剤師会が病薬の先生方と連携を取りながら活発に活動していることは大変喜ばしいことである。次回第45回は3月7日（木曜日）県立中部病院で開催されますので、現地参加も歓迎、WEB参加も歓迎ですので、是非大勢の先生方にご参加頂けることをお待ちしております。

（ピアナ）

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 **■薬事情報センター** TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 **■試験検査センター** TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原1-26-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-6026

おきなわ薬剤師会報 第321号 令和6年2月15日発行

◇次号は、令和6年4月発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・運天芳生・宮本直樹

久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子

八重山地区通信員／波多江直也 事務局／大城喜仁・徳元あおい

印刷：株式会社 東洋企画印刷

令和5年 誌上ギャラリー大賞



「クルーズ船の灯り」photo by 宮本 直樹(ゆんたく薬局)
第319号(令和5年8・9・10月号)掲載

令和5年 誌上ギャラリー優秀賞



「千鳥ヶ淵の桜」photo by 廣川 直子(ハイジア薬局)
第317号(令和5年3・4月号)掲載